京城日報

五日夕刊

本紙定價 一部金二錢五厘 一ヶ月金六拾五錢 三ヶ月金壹圓九拾錢 六ヶ月金三圓七拾錢(郵送料共前金) ▲郵券代用二割增
廣告料 ▲五號活字一行金七拾錢 ▲雜報欄内一行金壹圓五拾錢 ▲場所指定一行金拾錢增 ▲三號活字の一行は二號活字同樣 ▲六號活字の一行は五號活字同樣の事
發行兼編輯人 奥田直毅
印刷人 谷口政太郎
京城太平通一丁目 發行所 合資會社 京城日報社
電話 編輯用三四五番 營業用三二六番 振替貯金口座京城三〇〇番

◎米墨兩將の協定成立

華盛頓來電に據れば米國參謀總長スコット少將と墨國陸軍卿オブレゴン將軍との間に協定成立し米墨兩軍は協力して北部墨國より匪徒を驅逐する事及國境地方の米國都市が再び匪徒の侵害を蒙るの虞なきに至らば直ちに米軍を撤退すべき旨を約したるがカランザ將軍が右協定を承認するに於ては米國政府も亦之に承認を與ふべしと(紐育電報)

◎黒龍江省の獨立紛擾 吉林省も平穏ならず

黒龍江齊々哈爾にては革命黨員等の運動進捗し混成旅團長姜灝周は革命黨有志、前國會議員、商會議員等に迫られて黒龍江省の獨立を約し斯くて姜旅團長は將軍朱慶瀾に對し獨立宣言を迫り聞かざれば退却せしめんと計り引續き紛擾を極め居れり吉林省も平穏ならず人心恟々たり(奉天特電)

◎南方聯合司令部の成立

南方獨立軍聯合司令部成立し雲貴兩廣四省は近く統一せらるべし(東京電報)

◎退職問題と袁總統

二三日前袁總統は段祺瑞に向ひ予は退職することを厭はざれども目下南方にある二十萬の北兵及び各將軍連が我後繼者に服し得べきや又た能く財政を處理し得べきや懸念に堪へずと語りたりと(北京特電)

◎袁總統と段國務

北京來電に據れば兵權授受の件よりして袁總統が段祺瑞氏を財政問題より苦めんとし兩氏の意志阻隔を來せりとの說あり(東京電報)

◎黃興横濱著期

黃興は妻子を伴ひ來る八日頃米國より横濱著の豫定なるが子息黃一歐及び腹心の革黨員を故國に派遣し形勢を探究し進退を決す可しと(東京電報)

◎南支飛行家養成 阪本橘二氏に委託

民間飛行家なる阪本、橘二氏は這回支那南軍より青年飛行家十名の養成を委託されたり(東京電報)

◎伯林の騷擾 平和促進の示威運動より

伯林來電に依れば五月一日勞働記念日にポツタムの廣場に於て平和促進の示威運動あり騷擾を惹起して多數の死傷者を出したるが社會主義者リーブクネヒト氏外八名が之れが煽動者として捕縛せられたり(紐育電報)

◎英國新徴兵案愈提出

英國首相アスキス氏は愈々新徴兵案を提出せり此の案に依れば十八歳以上四十一歳以下の男子は既婚未婚を問はず悉く兵役に服すべきものとし議會通過後一箇月にして之れを實施すべき筈なり(倫敦電報)

◎叛徒巨魁死刑

倫敦來電に依れば愛蘭革命暴動の巨魁ピーアス及びコンノリ外一名は叛逆罪に問はれ死刑の宣告を受ると共に直に執行せられたり(紐育電報)

◎擊沈二千餘隻

歐洲戰開始以來擊沈せられたる各國船舶二千百九十三隻に上れり(東京電報)

◎出動準備旗艦

目下出動準備中なる阿蘇艦は某戰隊の旗艦たらんと(東京電報)

◎新事業投資三億

一月以降四月迄の新事業投資額三億圓に達せり(東京電報)

◎外交重要密議

大隈首相石井外相は加藤同志會總理等と頻繁に往復し外交上の重要事項に就き密議を凝しつゝあり(東京電報)

◎染料代用品新發見

東京府下千住製絨所に於て這回カーキー色服地染料アニザリンの代用品を發見せり(東京電報)

◎洋紙暴落と恐慌

破格の暴騰をなしつゝありし西洋紙の價格俄然暴落し爲に常業者の大恐慌を來し破産者頻出す(東京電報)

◎勅選議員發表近し

勅選議員の缺員八名に達し之が補缺は人物詮考を了し不日發表の筈にして新任者中には實業家も加へらるべき筈なり(東京電報)

◎西園寺侯西下

三月上旬より駿河臺の邸に滯在中なりし西園寺侯爵は五日午前八時三十分東京驛發列車にて京都府田中村の別邸に赴きたり(東京特電)

◎タゴール來朝

屢々日本觀光の爲渡來の噂ありし印度の詩人サー、ラビンドラ、ナート、タゴール氏は愈々四月卅日カルカツタ發の郵船土佐丸に搭乘來著の途に就きたる旨カルカツタ總領事より外務省に入電ありたり同船は來る二十七日神戸著港の豫定なり(東京特電)

◎參謀團釜山通過

參謀本部第一部長陸軍少將宇垣一成氏は馬淵、服部、高橋各師團參謀と共に五日朝高麗丸にて釜山著同十時三十分發列車にて北行せり(釜山特電)

◎奉天省今後の形勢

中立的獨立を宣言すべしと傳へられたる東三省は其後盛武將軍張作霖の手に依りて治安秩序を維持され革命黨、宗社黨等の暗中飛躍あるも今日迄のところ兎も角も表向は先づ靜平にして中立的獨立宣言も之なく事實は張將軍が段將軍に代りて多年の宿望を遂し年來植ゑ付けたる自己の勢力を更に擴大し鞏固にしつゝあるに過ぎず二十八師長馮麟閣を初め鎭守使たる吳俊陞、馬龍潭等が張の勢力扶植に一種の危惧心と嫉妬心とを抱きて内々對抗策を廻らせるは事實なるも彼等は勢力において到底張の敵にあらず馮將軍の如き阿片癮にて病軀能く大事を擧ぐるの氣力なく其の部下にも亦有爲の材乏しく殊に馮には文治の才なく勞々張と爭ひ果して勝利を得るや否や疑はしきものあり馮自身も能く之を認め居ると云へば輕舉盲動をなすが如き事なかるべく吳、馬兩將軍に至りては其勢力更に遙に劣れるを以て又輕々しく動く事なかるべし三者一致せば其の勢力或は張を凌がんも與に一致し得るや否や疑問なり去れば三者の張に對する對抗策は内密相談せられたりとするも今のところ彼等相合して反抗運動を開始し來るべしとも思はれず隨つて昨今の奉天省は殆んど張將軍の一人舞臺にして彼の勢力は旭日昇天の慨あり併しながら革命派宗社黨が張將軍の勢力に壓せられて竟に全く屈服し了るや否やも疑問にして近報に據れば黒龍江省に反袁氣勢高まり同省の有力者は將軍朱慶瀾に對し獨立宣言を迫り聽かずんば退去せしめんと運動し人心頗りに動揺し居ると言はれ懷仁縣下には農民一揆起り旅黨之を煽動し知事は公金及び部下を攜帶して晋川に逃れたりとの報もあり且山東省の動亂擴大と共に同方面より革黨員の潜入し來るもの勘からざる模樣なれば東三省の天地永く此の儘現狀を維持して治平を保ち得べしと樂觀するは早計たるを免がれず奉天省と雖も此間獨り安全なるべしと云ふべからず若夫れ張將軍の態度に至りては依然不即不離にして袁總統退職後も之れに適應すべき手段を執り時局の變遷に伴ひ左右孰れにも傾き得るやう拔目なく畫策し居るものゝ如くなれば事變の發生せざる限り張の位置は甚だ好都合の下に置かれ居るものと言ふべし因に張將軍は自家郎黨を各方に配置すると共に馮將軍其他を懷柔すべく彼等の部下又は知己をも如才なく任用し居れり(大連)

◎大邱法官歸任

大邱覆審法院長中山勝之助氏及び大邱地方法院檢事正大村大代氏は司法官會議出席の爲め上京中の處五日朝高麗丸にて釜山著十時三十分發列車にて歸任せり(釜山特電)

◎釜山旅行團

大池忠助氏以下四十六名は釜山米穀市場開設十週年記念旅行として五日朝關釜連絡船にて下關著大里麥酒會社を視察し同日別府へ向け出發したり(門司特電)

◎連絡委員長崎著

國際鐵道連絡會議に列席したる日支露各委員及び朝鮮鐵道局高等官等の一行を乘せたる京畿丸は五日午前六時長崎に入港直ちに伸を連ねて溫井里に向へり(長崎特電)

◎四月下旬鐵道成績

朝鮮鐵道四月下旬に於ける成績左の如し(▲印は減少)

	四月下旬	前年同期比
乘車人員	[illegible]	[illegible]
小手荷物斤數	[illegible]	[illegible]
貨物噸數	[illegible]	[illegible]
客車收入	[illegible]	[illegible]
貨車收入	[illegible]	[illegible]
運輸收入	[illegible]	[illegible]
一日一哩平均	[illegible]	[illegible]

◎西藏遺品到達 總計三百七十三點

總督府囑托馬場是一郎氏は四月二十二日六甲山二樂莊に於て久原氏より總督府博物館へ寄贈の筈なる西藏發掘物三百七十三點、陳列箱大小三十三個の受領を了へ、之れを八十六個となして神戸に積み出し輸送の手續を爲したるは既報の通りなるが同發掘物は途中包裝其他に異狀なく三日午後南大門驛著、六時三十分景福宮内思政殿に格納せり發掘物中主なるものは壁畫、佛畫、土器類、素燒品、表裝及び木製佛像、塑像、瓦磚、木乃伊等にして整理の上其一部は不日博物館内に陳列さるべきも全部の陳列を見るは尚多少の日子を要す可しと

◎定例長官會議

五日は定例長官會議日なるより寺内總督以下各部長官局長等は午前九時より總督府第二會議室に參集、通常政務に就き協議打合せの上正午散會したり

◎三九旅團司令部

步兵第三十九旅團司令部(平壤)旅團長市川陸軍少將以下將校四十六名、下士卒六百七十五名は豫定の如く五日午後五時九分龍山著臨時列車にて元山より到著、同日午後九時五十分發任地へ向け出發の豫定なり

◎七七聯隊本部

平壤步兵第七十七聯隊本部並に第一大隊は五日午後十一時二十分元山より龍山著六日午前零時五十分發任地平壤へ向ふ筈

◎市川旅團長通過

步兵第三十九旅團長陸軍少將市川堅太郎氏は大中尉兩副官を隨へ將校下士卒と共に五日午後五時九分龍山著、同夜出發赴任の筈なり

◎古海總長檢閱

古海警務總長は來る八日昌成洞なる警官練習所の檢閱を行ふべしと

◎志村總裁旅程 六日朝京城出發

勸銀總裁志村源太郎氏一行は五日仁川に赴き午後零時卅分發にて永登浦

◎大園局長北行

鐵道連絡會議の爲め入京中なりし鐵道院監督局長大園榮三郎氏は金井參事、伊藤技師の兩隨員を隨へ四日夜南大門發列車にて本溪湖へ直行せり同地を手始めに滿洲各地の視察を爲したる上北京に向ふ豫定なりと

◎村田理事旅程

村田東拓理事は四日朝北行せしが定州にて下車泰川水利事業の狀況及び二三箇所を視察し十五日頃歸京の豫定なりと

◎河野會計檢査官

北鮮地方巡視中なりし河野會計檢査官は四日再び入京直ちに仁川に向ひ五日京城へ引返し京城監獄を始め其他の各官署を巡察すべしと

◎韓相龍氏歸期

全國手形交換所大會出席の爲東京に赴き更に臺灣共進會參觀を兼ね渡臺中の漢城銀行專務韓相龍氏は來る八日夜歸京の筈

◎郡守の市內視察

京畿道府尹郡守打合會は四日を以て終了し五日は午前より郡守等二十名打連れ阿峴里、墓地、製絲場、工業傳習所等を視察したり

◎兵庫縣農會視察

兵庫縣農會にては來る九月より十月に渉り約二十日間朝鮮農事視察の爲め地主約二十名を以て視察團を組織し渡鮮する由にて其視察地日程等を東洋拓殖會社に問ひ合せ來りしが主として全羅南北道に於ける稻立毛の模樣を視察し農希望者の參考に資し度しと云ふにありと

◎赤十字觀光團消息

赤十字社朝鮮本部觀光團一行三十餘名は四日朝無事東京に著し紀伊國屋旅館に入れり、一同元氣旺盛なる旨大橋主幹より朝鮮本部に電報ありたり

◎朝倉中學朝鮮見學

福岡縣朝倉中學校生徒八十五名は園田敎諭外四名の職員引率の許に朝鮮修學旅行の爲め來る十四日午前八時連絡船にて著釜直に市中見學午後二時發朝鮮汽船に依り十五日木浦、十六日大田、十七日永登浦、十八日京城一泊十九日夕再び來釜の豫定にて各地を見學す可しと(釜山)

◎四月京城貿易

四月の京城通關貿易は輸移出方面に於て牛皮煙草等前月と大差なく十二三萬圓なるも輸移入方面は棉布棉絲の需要季節を過ぎ夏物の入荷亦一段落を告げし爲め九十三四萬圓に過ぎず前月より約二十萬圓の減なりと

◎麻布製織殷盛

昨今は夏物の仕入期とて京城の機織界は大に色めき立てるが麻布製織の如きは殊に盛にして西大門外なる内外製麻社、中谷金德昌其他主なる機織所を合し一日の織上高三百反以上に達し居れり、朝鮮に於ける麻布の製織事業は近來勃興せるものなるが之れを支那産に比するに美麗にして耐久力あり、殊に昨今の價格は麻布類の騰貴に拘らず一反一圓二三十錢を上らざれば本年多大の需用を喚起すべし

◎手形交換激增 四月は六百十三萬圓

四月中に於ける京城組合銀行の手形交換高は二萬八千三百五十八枚其の金額六百十二萬九千九百卅圓にして之れを前年同月に比すれば枚數に於て三千八百二十三枚を金額に於て百五十九萬一千七百圓乃ち三割强を增加し居れり而して不渡手形は昨年來本年二月頃迄每月十餘枚を數へたるも三月四月は偶々預金不足にて不渡物出づるも當人より直ちに預入をなし取消すに付殆んど手形の不渡を見ずと之れ一般金融界の好調を事實に語れりと云ひ得べし

平壤

▲敎育會總集會 平南敎育會總集會は三日午後四時より箕陽俱樂部に於て開催會長副會長評議員の選擧ありたるが被選者氏名左の如し尚同會は滿場一致を以て工藤平南長官を名譽會員に推選したり

會長篠田治策、副會長本田常吉、田中玄黃、評議員伊藤德順、大田恒德、川西貞次郎、吉松正一郎、中西讓久男、松江寬次郎、内村安太郎、勅使河原健之助、八木辰男、松井民次郎、松尾六郎、赤木市次郎、阿部秀太郎、宮川五郎三郎、水谷千萬吉、三宅鑑吾、渡部邦哉、板倉岩太郎、張道植、邊元次郎、淺井佐一郎

▲小松原氏の來壤 樞密顧問官小松原英太郎氏は三日午後三時著壤直ちに工藤長官、本田府尹の東道にて市街及び牡丹臺等を巡覽し尚慈惠醫院商品陳列所をも視察し午後七時より大同館に於ける官民有志の歡迎會に臨み同夜柳屋に投宿せり四日午前中中學校女學校高等普通學校女子高等普通學校京日大學を視察し午後零時發最大急行にて滿洲に向ひたり▲阪谷男通過 滿洲視察の阪谷芳郎男一行は四日午後零時二十分平壤官民有志の送迎を受け平壤驛を通過せり

□黃海道延安より　小塊

▲白川邑内方面に約四萬石延安邑方面に約五萬石の貯藏米あり、籾相場二錢七厘、大豆は六圓四十錢を唱ふ、米價安ろも既に一石もなしと云ふ、米價安の影響不景氣は飛鳳山下に及べり、此附近到る處山を穿ち畑を掘りし跡多く鑛山の熱度の如何に高潮せるやを知るべし

野も山も黃金の花や風薫る
延白も粉紫する花の頃
陽炎の水田を蛇のうねりけり

◎商議役員會開會

京城商業會議所にては既報の如く來る八日午後二時より役員會を開き滯納課金徵集前年度決算其他の件に付き協議すべしと

◎朝鮮皮革總會

朝鮮皮革會社の第九回株主總會は三日南大門通同會社出張所に於て開催し營業報告財産目錄貸借對照表其他を承認し左記利益分配案を可決せり會社今期の營業成績は前期に於て軍需品の受渡を了し當期は閑散期に屬したるを以て收益も前期よりは自然減少し且諸積立金も著しく減額されたれども株主配當率は前期同樣年八朱を維持せり

▲決定損金三、〇〇〇圓 ▲所有物價却積立金五、〇〇〇圓 ▲別途積立金六、五〇〇圓 ▲配當準備金三、五〇〇圓 ▲職員職工扶助金五、〇〇〇圓 ▲役員賞與三、五〇〇圓 ▲株主配當(年八朱)二四、〇〇〇圓 ▲後期持越金六、五三〇

木浦

▲長官歡迎宴 當地官民有志の宮木長官歡迎宴は三日午後七時より公會堂に於て開催せるが出席者百四十餘名に達し木浦空前の盛況を極めたり▲長官の披露宴 宮木長官は新任披露の爲め四日午後六時三十分より當地官民有志の重なる人々を東雲樓に招待し盛宴を張るべしと▲松平子爵視察 東洋拓殖會社監事なる子爵松平直平氏は二日夜來木三日模範場木浦綿業米穀檢査所等を視察し午後四時二十分發榮山浦に向へるが同地に於て社務を監査し全北に入り水利組合を見大邱に向ふべしと

釜山

▲水産重役會議 四日午前十時より大池氏別邸に於て釜山水産重役會を開きたるが出席者は大池社長、迫間、香椎、中役、阪田氏等にして協議案は同會社事務所新築其他二三件にて協議の結果愈々豫定の如く新築工事に著手する事に決定したりと▲繁榮會春季大會 釜山繁榮會にては春季大會開催に付三日午後準備委員會を開きたるが大會の場所は綠町海濱なる開勝園に決定し總て窪田委員に一任なし萬事を交渉或は計畫を遂行する由なるが本大會は恰も繁榮會の十週年に相當するを以て記念祝意を兼ね大園遊會を開催する筈なりと▲穀物商の別府行 釜山穀物市場十週年記念別府旅行は愈々四日午後連絡船さくら丸にて大池組長、五島、上田、那須の諸氏其他新聞記者三名合計四十七名は豫定の如く出發せり▲持地局長療養 土木局長持地六三郎氏は病氣療養の爲め四日午後釜山鎭驛より東萊溫泉に向へり▲伊藤少佐の昇進 陸軍運輸部釜山支部長伊藤步兵少佐は今回中佐に昇進し宇品同本部詰に榮轉の内命ありし由▲券番藝妓芝居 釜山券番十五週年祝賀記念の爲め同券番藝妓芝居は既報の如く去月十日頃より稽古中なりしが尚ほ二日より釜山座にて本稽古を演じたるが頗る熱鬧し愈々六日午後二時より顏見世を催す事に決したり

人事消息

▲山口良昌氏(法務課長) 司法官會議の爲め東上中の處此程歸任
▲吉瀬治太郎氏(水産技師) 水産狀況調査の爲め四日仁川府及び富川郡へ出張
▲荒木捨作氏(總督府囑託) 朝鮮留學生狀況視察の爲め名古屋京都大阪神戸千葉縣へ出張を命ぜらる
▲林市藏氏(東拓理事) 病を挾みて引籠り中昨今殆んど快癒一兩日中に出勤の筈
▲鐵道連絡會議員一行十四名 四日夜金剛山へ
▲山本丈太郎氏(實業家) 四日夜内地へ
▲國原俊成男(貴族院議員) 四日夜入京朝鮮ホテルへ
▲笠井工學博士(小野田セメント社長) 四日夜入京朝鮮ホテルへ
▲原代議士(茨城縣) 五日朝安東縣へ
▲竹内維彦氏(工學博士) 五日朝平壤へ

□臺南より　文哉生

四月廿八日

砂糖の南臺灣は只今其の季にあらずといへども略想像なされ候。午後四時五十分回歸線下を過ぎ漸く此の地に著、鄭成功の城池と聞くもそゞろなるもの有之候。バナナ、及び松香林檎は新鮮豐美實に無双にて候。

(竹の給搭にて)

百尺もあらんかと思ふ若竹の
葉末にかゝる雲の峰かな

博義王殿下御快癒
平常の御狀態に復させ給ふ

呉海軍病院にて御靜養中の伏見若宮博義王殿下には其後御經過頗る良好にて目下御呼吸御脈搏御熱共殆んど平常に復し給へるも一時御重患に渉らせられたるを以て御衰弱甚だしく今後三週間餘り御靜養あらば御健康狀態に復せさせ給ふべしと承る（呉特電）

成功せる處女飛行
百馬力の發動機を模倣せる新機

豫て陸軍航空大隊に於て建造中なりし百馬力複葉トラクター式飛行機は愈々竣工したるを以て二日午後二時四十分所澤飛行場にて井上交通兵團長、田中館、横田、中村の諸博士、有川隊長以下各將校來場し澤田坂本の兩中尉は前後二回約百米突の低空處女飛行を試み三時過ぎ兩翼を折疊んで格納庫に納めたるが同機は航空大隊の工場にて澤田坂本の兩中尉の製作に成り獨逸のメルセデスダイムラー式の百馬力の發動機を模倣し砲兵工廠にて製作したるものにて二人同乘して七時間の飛行に堪ふる油、鐵武器爆彈等を搭載し得と（所澤）

浮流水雷を發見す
青島の掃海—七個は未發見

去月廿九日青島港內遊山內附近の海中にて機械水雷の浮流せるを發見し卅日朝防備隊にて港務部と交渉の上掃海を開始し五名の水兵海中に飛入り水雷を縛し爆發せしめたるが之に從事せる水兵中の原田一等水兵は海水寒冷の爲め人事不省に陷りたるより防備隊病院に收容療養中なり獨逸軍の敷設せる機械水雷は尙ほ七個ある筈にて引續き掃海中なり（青島）

墺匈國の浮虜中尉
門司で捕ける

ブダペスト生れ歩兵中尉ウラビスローフラ（二十七）はホルンの戰爭にて捕虜となり西比利亞オクタブルへ收容されて居たるが本年一月脫走し大連より上海に出で今回渡米の目的にて郵船山城丸に便乘し五日朝門司に寄港の際門司水上警察署に於て取り押へられたり（門司特電）

巡警百餘名の強盜團
鴨綠江を渡る

既報の通り元懷仁縣知事王濟輝以下武裝せる巡警等百餘名の一隊は本月二日午前八時頃安東を距る上流約三十四里なる寬甸縣管內庄浦石河に現れ附近を掠奪し同地駐屯巡防隊及び巡査等と交戰の後鴨綠江運輸司所の所有に係る高瀨舟二隻を奪取して之にて對岸朝鮮側に渡り碧潼附近に潜伏し居れりとの情報ありたるに依り來安中なる寬邊鎭守使馬龍潭は我官憲に對し之が逮捕方に付き交渉中なり因みに前記小蒲石河に於ける交戰の際官兵に四五名の負傷者を出したる由にて內一名の巡防兵は三日午後擔架にて安東縣へ送還され滿鐵醫院にて治療を受けつゝあり（安東縣）

「何處へ行く」（ヴォ、ヴァディス）

血と肉との格鬪—リヂアとヴィニチウス—羅馬の最盛時—ペトロニウスの死—羅馬の大火—四時間の映寫—

□同じ脚本であり乍夫れを臺本にした舞臺面で得た感じが只素讀んだ時の感じと殆んど別物であるかの樣な深い印象を殘して行くのと同じ對照で、小說として書かれたものを脚色した臺本に依つて演せられたものが大抵は原作小說以上の感じを與へ得ない事は幾多の例に依つて實見させられて來た。怎も其處に何となく無理がある樣に思はれるのである

□舞臺 其處が使はれないにしても其代り實物を背景にし得る丈でも非常な利益が無ければならないのに、活動寫眞なるものが一般に無理が多いのは金がかゝつてゐない爲めに端折が多いからだと言はねばなるまい。

丁度小說を脚色する時に下手な技巧が原作の氣分を味ひ乍ら打壞してしまふ樣に—、其結果として活動寫眞の多くは極めて淺薄な且低級なものが出來上つて、延ひては活動寫眞を見に行くと云ふ事が安價な趣味性の滿足であるかの樣な感じを與へさせられる樣ひとなつた。

□安價な趣味性に生きた低級な觀客の集合と目されたればこそ男女を分つ爲めに席に繩張りをされる樣に迄成つた。法律が先に有つて罪惡が後に生れたのでは無い、よく無い事がされたからこそ其防禦の繩が張られたのだ。

□言ひ換へれば小說を脚色した脚本よりも原作の方がよく、脚本は讀むものでなくて舞臺に掛けて見る可きもの、其演劇は又本舞臺で見てこそ眞の味ひがあるもの、活動寫眞にしたりしては到底も駄目だ、と云ふ事に成つて來る

□今月 三日から六日迄壽座で映寫られてるシエンキウイッチの『何處へ行く？』は是等の前提の總てを打破して觀客に深い感銘を與へる

即ち此原作は小說なのに其れを巧みに脚色させて而して到底普通の舞臺に登されない場面を活動寫眞なればこそ得られる天然の背景を利用して而も大金を惜氣も無く費やして此殆んど四時間に近い長時間一分間の休憩も無く映寫し續げる程の長大なフイルムを製出したと云ふ事は見事な成功と言はねばならぬ

□今更 想ひ出すのでは其道に暗い迂遠な話かも知れ無いが鮮くも大遂樣を京城に紹介した基督教青年會には多謝しなければならぬ記者は此前に來たのを見る機會が無かつたので比較し得ないのは殘念であるが原作が其骨組に據つてゐる新約の一齣とが與へた感じと此寫眞の場合小說を脚色した演劇乃至劇を種にした活動に殆んど定つて居る裏切られた感じをも與へられずに此無始より無終に動いてゐる靈と肉との格鬪に就て費やされた大人格に接觸させられて覺えず貧弱な內部生活の自省を迫られた

□戀ひ 心の唯一途に其胸を掻い抱かうとしたリヂアの心に在る譯の解らぬ崇高の疑惑の障を瞪つたヴィニチウスの異敎（普通の人）の心が次第に靈に醒めかける其過程は此小說の大本で、而も此一箇の魂を救ふ程の大事業を爲し遂げた偉大な人格者ペテロさへも、はた又時代を異にしたイスカリオサのユダの樣なチロ、チロニデスをだに許して遣つた程の大人格ペテロでさへも、一時羅馬を後にしやうとした、艱苦から苟安に逃れやうとした、此心の弛緩—匪の囁き安價の妥協—があつたのを『何處へ行く？』『爽を戴るは難し』其覺悟なくて何とする、と責められて敢然更に七丘の都へ生命を抛うつべく道を返す其心の經過は此小說の結論である、のに其處に多少の不滿があつたのは氣分を浮べる筆の力が脚本に小說の樣な自由が無い爲めか、其れも何處か端折つてあるのかとも思ふが多少の賞は辯士にも捧げ度い。

□辯士 の口調の陰然たるのは一種儒者が有り此種の崇高な寫眞に適してもゐるが映寫に遅れ勝ちな說明が兎もすれば觀客の醸つた氣分を弛めたがる。其點に今一工夫の希望はあるが然し大體に於て京城にありふれた辯士連とは比較を超えてゐる

□映畫 の與へる羅馬大帝國最盛時の華美淫逸豪奢奔放な文物人心は兎も角も第一に驚かされるのはコルシウムの大規模と其處に放たれた猛獸の獰猛慘忍である

□羅馬 の大火や奔馬に驅つて火の海へ急ぐ郊外の風物、まではカメラに於けるペテロの大觀戲、ペトロニウスの死、夫れから夫れへ轉開してゆく映畫が總て藝術品のみで映寫時間の短いのが悔まれる程だ。是れに音樂とコーラスでも添へられたら、とつひ慾も出たがる

□此事業が主催者青年會の主旨を充分に徹底し得た事を祝福して筆を擱く（舵）

坊ちゃん嬢ちゃんを招待
南山幼稚園の節句のお祝ひ

五月晴の碧空に北漢山が聳え立つ五日の市中には鬼瓦の厳めしい其處此處の家根棟から又生ひ茂る青葉の間から五月幟、鯉幟なんどが勇ましく翻へつていかにもお節句らしい氣分が漲つて居りました、此の日南山の幼稚園では端午の節句をお祝ひするため

◇且つは先日三月のお節句に
◇女の園兒からお招ばれした

お返しに男の園兒が女の園兒たちを招待いたしました、園內の遊戲室の正面には美しい座敷幟や勇ましい武者人形が飾れて赤飯や柏餅が供へられその前には低い小さな卓子が幾つも並べられて定めの時間の十一時が來ると

◇御主人側の男の子も
◇お客樣の女の子も

みんな嬉しさうにニコ／＼しながらお行儀よく席に就きました、此の日はお母樣や姉樣や兄樣たちも七十人ばかり見えたので大へん溫なし／＼して居りますうちに君ケ代が始まつて端午鯉登りの唱歌などが今年入園した小さい子供によつて歌はれ其から

◇赤飯だのいろ／＼御馳走が
◇出てみんなでお旨く喫べ

たのち十二時半からいろんな歌や遊戲があつて歸りにはお土産に柏餅やちまきをいたゞいて還りました

變裝して強盜を逮捕す

今年二月頃より平南江西郡雙龍面の山道に強盜折々現はれ通行人の被害多きより多足憲兵出張所の所員は變裝して強盜出沒の噂ある附近に待伏せする事十數回に及びしも更に出會せざりしが四月十四日の夜に怪しき曲者の影を認め誰何し取押へんとせしに曲者は忽ち小刀を以て反抗し來たれるを約半時間ばかりも格鬪の末遂に捕縛したり此奴は江西郡新興面船蓮里李昌(二)と云ふ者にて之まで辻強盜を働きたる事十數回に及びたりと（平壤）

牛機關車に刎ね飛ばさる

高陽郡神道面加溪水橋農金光鉉(三)は三日午後四時頃牛を牽きて京城蓬萊町一丁目より義州通二丁目の鐵道線路踏切に差蒐りたる際折柄進行し來れる列車に出會したるより牛は大に驚きて踏切りの外垣を突き破りて線路內に闖入して遂に六十八號機關車に衝突し跳ね飛ばされしも牛は別に負傷無し之れが爲めに列車は三分間停車するに至りたり

救助網で負傷

京城電氣會社の百十三號電車が四日午後六時半頃仁義洞の線路上を總督府醫院前に向け疾驅中一名の鮮童が線路を橫斷せんとするより停車したるも惰力の爲め件の鮮童は救助網の一端に觸れて右足大腿部に骨折を來し治療一箇月を要する重傷を負ひたるが急報に依り鍾路署より係員醫師出張取調べの結果負傷者は蓮池洞金光運(二)といふものと知れ取敢ず總督府醫院に擔ぎ込み目下加療中

遺露救護班通過期

露國より歸還せる救護班上野博士以下看護婦十九名一行は五日長春一泊六日奉天一泊、七日午後安東驛通過朝鮮に向ふべく朝鮮に於ける旅程は不明なりと（長春特電）

大禮寫眞盛況

京城日報、每日申報支局主催の御大禮活動寫眞は四日二回開催入場者千數百名に達し頗る盛會を呈せり（木浦特電）

□昔の京城地圖

此地圖は『首善全圖』と稱し調製の時代は不明なり板木は阿部充家氏の所藏に係る城壁廻りの參考として揭ぐ

六小學校修學旅行

京城の櫻井、鍾路、日之出、西大門、元町、龍山の六小學校では各高等六年生のみを集め一行七百餘名の大勢と成つて六日臨時列車を派し開城に修學旅行をする事と成つた櫻井小學百六十四名、鍾路小學八十四名、西大門小學百二十四名、日之出小學百五十四名、元町小學六十九名、龍山小學百八名合計七百三名で其發著時刻左の通り

南大門發 午前八時二十一分
開城着 同 十時二十五分
開城發 午後四時三十分
南大門着 同 六時十分

金光教春季大祭

永樂町金光教會の春季大祭は例年五月十日なるが本年は六日に繰上げ午後一時より齋行前教會長の十日祭を兼ね大祭を擧行し式後白神大阪教會長の說敎あり

滿員盛況『何處に往く』

五、六兩日午後七時開場
◉會場 壽座 ◉主催 京城青年會

妓生へお說敎

京城鍾路警察署にては四日午前中管內居住の娼妓(鮮人)及び抱主を午後は妓生及び置屋主を悉く同署に召集し五月一日より實施の新規則につき松井署長及び保警部より訓示する所ありたり

小娘の萬引

香川縣三豐郡常盤村生れ當時京城北米倉町居飲食店下女田井ゆきの(十八)は三月二十五日本町二丁目丸一呉服店にて上等緋一反(十四圓餘)を萬引し二十六日河崎つえと僞名して一圓に入質し尙四月十一日頃同じ仲間の佐藤はるの現金三十錢を窃取し外一箇所にても一圓を窃取したる爲本町署に引致さる

乘馬會試乘大會

六日の乘馬俱樂部試乘大會は參觀者多數の見込なれば招待者は必ず招待狀を持參す可しと因に當日の電車は觀覽者の便を計り午後一時より特に黃金町角に停留す可しと

△群山市民の共樂 演藝會

曩次報道せし如く我が群山支局にては愛讀者平素の眷顧に酬ひ擬ねて市民懇親の爲め愈々左の日取りに依り市民共樂演藝會を開催します時維れ艶陽、萬般の設備と方法とは一刻千金の春の宵確に十二分の歡樂を恣にすることが出來やうと自信して居ます

但本紙愛讀者へは觀覽券一枚宛を進呈更に此の際本紙一箇月分前金講讀申込者に限り觀覽券一枚二個月分以上は一箇月分を增す每に一枚を進呈します

會場 群山座
開催日時 本月六日七日兩日午後五時開始
京城日報群山支局

△新購讀者の特典

◉肋膜炎を病む方に
◎ロクマク ◎ロクマクエンにて永らく病む人は ◎水がたまつて苦む人 ◎水がたまらなく苦む人 淡色の液がたまり、液の中に血が交り膿汁がたまり、呼吸をすると胸が痛む、咳嗽が出る、動くと呼吸が困難になると云ふ隨分厄介な病氣である此病氣を速く治して丈夫になりません肺病に成り易いのですが未だ此病氣に良く効く良藥がありません東京府大森新井宿中江藥療苑ハガキにて御照會あれば是迄實地服藥の上、最もヨクキク藥の自宅治療問答書を同病に惱む方に無代で差上げますから御遠慮なく申越下さい

時間正確 實用新案三七三九 此品無代進呈
大阪西區北堀江御池通六丁目長尾商店呉服部にては顧客に誠實なる價を撰ん爲左の流行品を此期節に利用の大英斷を以て利害を顧ずセル地新柄流行品質優美一見高價なる舶來品と見分難き別製品壹反只の貳圓廿錢同甲一反貳圓六拾錢甲上一反參圓廿錢で又本年新柄流行絹縮緬兵兒帶無地上等中巾八尺物一圓九拾錢同大巾八尺物貳圓九拾錢同最大巾甲一丈物四圓貳拾錢にて尙其上に兩品何れにても各壹品每に前記圖の如き十六形時間正確なる實用新案日光懷中時計及鎖メタルの三景品を無代添附すると云ふ類なき方法と品質善良安値にて高評買つゝあり因に本紙愛讀者にて希望の方は『ハガキ』にて男女年頃を記し同店へ申込めば柄合を見計ひ親切に荷造の上代金引換小包送料... 遂ある時は無料他品交換又は返金に應ずる由なれば讀者は安心して注文するを得べし

菊苗移植好期 ダリヤ ばら
兵庫縣川邊郡山本村 ばら園
定價表進呈

內服新藥 小林氏 ニーリコ
淡黃色透明粘稠香氣ある液なり
◎適症 腫物(ようかき炎。乳腺炎)よう。ちよう。ひよそを切開を要せず內服にて治す、又神經衰弱。脚氣に卓効あり
◎二百瓦入と四百瓦入の二種あり

◎殺菌的收斂藥 アンチオレし
◎本品は止瀉藥として總ての下痢病に著効あり
◎本品は錠末と錠劑の二種あり
製造元 東京麻布新網町 小林正直堂製藥部
朝鮮一手販賣 京城府本町一丁目 天佑堂藥房 山岸祐太郎

寫眞
寫眞出張撮影 寫眞銅版、亞鉛凸版
最も熟練せる技術を以て最も低價に迅速と丁寧親切とを旨とし御用命に可應候
京城日報社 寫眞製版部

赤門印 人參規那鐵葡萄酒
貧血、虛弱、疲勞、婦人病等に最適の飲料 是非御召しあがれ
大阪道修町 小西商店洋酒部
◎各地有名なる藥店洋酒店にあり

鑛業用水車金物 薩摩式碎鑛器具
スタンプ杵先臼底鐵金物 水銀燒分器乳鉢並に搖鉢
鹿兒島縣川內 新原鍋屋

食料品
よい品を安く賣る店
京城旭町 川西商店 卸部 小賣部
電話長一三六七番 振替京城一一番

中風病（チウブウビヤウ）（手足引つり腰足痛み不隨叉股出で脊髓炎脊髓勞脊髓衰弱症）
脊髓病（セキズイビヤウ）（半身麻痺腰脚不隨痛み言語澁る症腦溢血腦エンボリ腦充血）
以上疾患の患者自療には元帝國醫科大學助手ピーエッチシー川崎先生創製の有效適良なる專門自療藥あり同病困難者病名記入申込次第無料詳報す
申込所 京都市三條聚田御門內 △川崎自療法研究所

蛇印アンチピリン丸
かぜ ねつ 最良藥
早く治る藥 よくキク藥
さむけ出で發熱し、頭痛し、手足だるく、水ばな出る時本劑を服せば不思議の効あり（但十錢、十五錢、廿五錢）にせ物有り蛇の商標に御注意
本舖 大阪 東京 丹平商會

質
京城黃金町二丁目（永樂町停留所北入）
堀佐營業所（電話六三九番）

百貫目の貝殼

曇り 五月六日

京城の城壁(5)

釜山中學校長 廣田直三郎

京城日報社に於て、京城城壁一周の企て發表せられたるは近頃の快擧にして切に其の成功を祈る。其れに付き、同社長よりの依頼を以て、城壁に就ての卑見を述べたるも、研究の城壁研究は尚未完了に屬し、且つ當地にありては資料に乏しく、殊に喧囂の御申越に對し十分に應ずる能はざるは、恐縮に堪へざる次第なり

京城の城壁の周圍及び高さ等は、東國輿地勝覽にも見え、各門の名稱及び構造等も、案内記などに記載しあれば、此點につきては贅言を省き、今回は主に京城の城壁を基として、朝鮮全體の城壁につきて愚見を述べ、朝鮮の築城に關し新たなる研究をなさんとする人の參考に資せんとす。朝鮮に現存せる幾千の城壁は、(古城趾を含む)其の構造に種々あるも之を朝鮮式、支那式、女眞式、日本式の四つに大別するを得べし。勿論純粹に各樣式の特立保存せられたるものもあれど

日本式を除くの外は相互に頗る錯綜せる

もの多きが如く、殊に挽世に至るに隨ひ複雜の度甚しく南鮮の或る地方にありては更に日本式を加味せる(多くは大院君頃の修築)ものを見るべし。京城の城壁は朝鮮式の山城を本體の樣式としこれに支那式及び女眞式の長所を加味せるものゝ如くに判斷せらる。こは比較的近代の設計として當然の結果なるべし。京城の城壁の經始は、普通の山城と少しも異なるところ無し。朝鮮の山城は種々樣式を異にするも、其の最も普通なる山城は、京城によりて窺ひ知る事を得べし。

南大門驛より坦々たる道路を電車または自動車にて入城せるとき

又は東大門並びに光熙門より入門せるものは誰れしも山城に入れりとは思はざるべきも、專門家にとりては、尚ほ山城と見るなり。此の種の山城は私に第三式と命名せる所なるが、大邱の達城公園の第二式より一歩進みたるものと思しく、慶州の明活山城(第三式)と大小廣狹の差こそあれ、其他に異る所を見ず。これ畢竟、京城は明活山城の樣式を都邑に結び付けし迄にて、強て云はゞ第三式の應用と云ふべきなり。此れより進步すれば半山城、半平城(密陽又は東萊の如き)となり、終には平壤(鐵城、慶州、大邱の如き)となるなり。

京城の如き第三式山城は主として三箇の要件を具備す、其の第一は

必ず南北に山脈(小なる城は二箇の山丘)を抱擁す。京城にありては白岳山の一脈と、木覓山(南山)の一脈と恰も之れに相當し南北二連の山脈をなせり。之れ籠城中終日日光に浴するの便利に出たるものと推せらる。第二には豐富なる水脈を要す。此れ山城としては當然の事ながら、朝鮮の如き禿山褶岳の多き國に於て今猶ほ山城のある所源泉滾々として盡きざるは其の選擇に感服せしむ。第三に東西何れか少しく高く(多くの場合南北兩山の脈を結合する鞍部をなせり)

他の一方著しく低下す

京城にありては仁王山より西小西大の兩門を經て南山に至る線(南大門のある邊はよく注意するときは小高き丘陵をなし其の最低部に崇禮門のあることを知るべし)にして、隨つて城内の河川溝渠の水は悉く南、北、西の三方より流れて中央に集り開川となり東に流れて東大門側の水門を潛り、城外に出づ或人京城の形を箕の如しと云へるは略中れりと云つべし。斯く三要件を具備する點に於て京城城壁は純朝鮮山城の第三式と稱すべきなり。已に純朝鮮式なるを以て、其目的は保民禦寇に存し

戰鬪員を基準とし戰術より割り出せる築城に非ずこれ日本式

の如く總廓より三の丸、二の丸、本丸、天主閣と、步々に敵に對抗し得るものに比し簡單なる所以なり。京城の城が孟子の謂ゆる『三里の城七里の廓』と云へるよりも遙かに大なるにも拘はらず。其の厖大なる城壁も一點の破綻を生ずる時は、忽ち落城するの弱點を有するは築城法及び戰術上の眼より見れば、頗る幼稚簡單なるものなりとす。また京城の城壁に支那式の加はれる點は、城壁の疊石法にあり、之れ東南兩大門の穹窿及び城壁上に散見せる銃眼の築造方法に著目すれば分明すべきなり。

最後に女眞式の加はれる著しき點は東大門の甕壁なり。

此甕壁は電車開通するも幸に破壞を免れ、今日迄殘存せるは慶賀に堪へざる處なるが此の甕壁は日本式築城の桝形に相當し城内に突入せんとする敵兵が此處に至るや進むには堅固の城門あり、退くには友軍蹙進し來りて退却の餘裕を與へず、狹き桝形内に、壞落して混亂せるに乘じ、壁上より矢石を飛して、敵を鏖殺するの設計なり。彼の水原の八達門にも甕壁を有すれ共、こは少しく形式を異にし

東大門は一層長く出て城門を掩へるに反し

八達門は左右より半圓を畫き、遠くより城門を望むを得べきを異れりとす。また水原八達門の甕壁と同一型なるも圓形をなさずして直角をなせる朝鮮唯一の珍門は釜山に近き東萊城の南門なりしが、近時道路擴張の爲め取毀たれたるは遺憾の至りなり。畢竟水原の八達門は東大門に工夫を加へたるものにして東萊の南大門は更に改良したるものなるべし。東萊南門の破壞はせむ方なしとするも將來東大門と八達門とは永く保存の途を講ぜられんことを切望して已まざるなり。其他京城城廓の長所弱點並に攻擊防禦の方法手段に關し多少の愚見なきにあらざるも、他日稿を更めて世に問ふことあるべし。

京城日報毎日申報各支局主催
御大典活動寫眞

■木浦(四日夜 五日二回) ■光州(六日夜 七日二回) ■大田(九、十日夜 十一日二回)

京城日報、毎日申報の現購讀者は各等三割引のみならず同時に二等入場券四枚購入の方には御希望に應じ兩紙の中一つを一箇月間無代進呈

活動寫眞謹寫巡業日程

▲常磐津會

常磐津會は來る六日午後六時より淨瑠館に於て門下連中の常磐津會を催すべくその番組左の如し

▲子寶三番叟(喚花江三味線) ▲戻橋(喚花奴三味線喜代滿) ▲今樣夜仇討 [illegible]

▲御成座の素人淨瑠璃

六日七日兩日京龍淨瑠璃聯合會にて素人淨瑠璃大會を開催すべく木戸場代無料初日の語り物左の如し

▲日吉丸三(勝三) ▲玉藻前三(小松) ▲太功記七(みどり) ▲御所櫻三(花玉) ▲菅原四(綾榮) ▲又助住家(秋月) ▲朝顏日記宿屋(梅香) ▲忠臣藏六(小雨軒) ▲阿漕油(松鶴) ▲佐倉 [illegible] ▲太功記十段目(掛合)

▲黄金館

六日より寫眞全部差替へたりその主なるもの左の如し

▲滑稽サンミーの銀貨 ▲喜劇サインの夢 ▲舊劇細川血達磨最長尺 ▲軍事活劇變裝士官全四卷 ▲新派悲劇白菊草紙全四卷

▲團昇と龍山

浪花節に於いて非常に好評を博したる女流大夫竹本團昇一座は龍山有志の招聘により六、七の兩夜同地佐久良座に開演、それより太田を三日間興行、釜山を經て内地へ引揚ぐる由

▲廣澤千代女來る

大阪廣澤派の女流浪花節の腕利きとして内地に人氣を有する廣澤千代女一行十一名は來る七日入京浪花節に乘込み當夜より開演する由

商況

東京株式特電
[illegible]

債券現物特電
[illegible]

公債直取引
[illegible]

深川在米特電
[illegible]

東京期米特電
[illegible]

大阪期米特電
[illegible]

大阪株式特電
[illegible]

大阪三品特電
[illegible]

下關期米特電
[illegible]

朝鮮物産特電
[illegible]

雜報

●關東製粉の其後
[illegible]

●絹糸底強し
[illegible]

●晒金巾强硬
[illegible]

貫約五十錢方の騰 過大の値開
[illegible]

●鮮人向雜貨好況
[illegible]

●鑵詰新筍入荷 錢小鑵十五圓見當 大鑵四十八
[illegible]

仁川米豆取引所仲買人 日 仲買店

●生果類の近況
[illegible]

下關相場
[illegible]

京城正米
[illegible]

京城雜穀
[illegible]

南大門の廻穀
[illegible]

吉 行貿仲買店

仁川現物市場
[illegible]

釜山市場
[illegible]

生魚市場
[illegible]

仁川期米
[illegible]

五日前場
[illegible]

保合の裡に底强
[illegible]

市場零聞
[illegible]

▲依然强保合
[illegible]

三巴仲買店

▲保合岐れ如何
[illegible]

人氣は稍賣募り居 相場は始終
[illegible]

底強き
[illegible]

▲强氣某の談
[illegible]

結果は昨秋來の出越 今後の廻米
[illegible]

時は一時彼も一時
[illegible]

代は過渡期に屬し賣買能時
[illegible]

仁川米豆取引所
五日の七月限
[illegible]

賣買取組高
[illegible]

北濱だより

▲株界の現狀
[illegible]

▲アルカリ株
[illegible]

小賣白米
[illegible]

演藝案内

御成座
電話二九一
[illegible]

黄金館
黄金町四丁目 電話二六三七
[illegible]

壽座
本町 電話五七八
[illegible]

浪花館
明治町 電話二六〇番
[illegible]

壽館
壽町 電話一〇五〇
[illegible]

大正館
櫻井町 電話八七三
[illegible]

貸自動車運轉開始 郊外散策の好季 南大門外 近藤運送店自動車部 電話六七二番

蓄音器五月號新音譜 [illegible] 日本蓄音器商會 京城本町二丁目 電話一八三番

タオル製造販賣 小野タオル製造所

太物類各種足袋問屋 染手拭木綿並に足袋原料 袋足並にカバー製造販賣 山印大阪足袋一手販賣 明治足袋會社特約販賣 大阪市東區唐物町堺筋角 柿定商店

時代の要求により創製の營養劑 最新鉄劑フエロール 梅毒症應用新劑 沃度フエロール 皮膚病應用新劑 アルセンフエロール 氣管支症應用新劑 グヤコールフエロール 創業元 大阪東區道修町 藥劑師 小西久兵衛

夏帽子 パナマ 二圓七十錢より ムギワラ 七十錢より 鳥打形 五十五錢より 東京塚谷出張店

入院隨意 酒井婦人病院 京城永樂町二丁目 電話二一六〇番

宮本武藏

第二十九回 桃川如燕口演 浪上義三郎速記

さて宮本先生は尾州家御指南番山本源藤治方に滯在して家中の者へ二刀流を敎へ、亦山本から念流を敎授して貰ふ、山本はまた宮本に二刀流を習ひ相方上達も早く三月程滯在して居ります中にスッカリ覺へた、殊に山本は眞庭の道揚で矢止めといふ事を指南して居りましたからその矢止めといふ事を宮本に敎えた、この山本が矢止めを敎へたので宮本が危ふきを逃れたお話しがある、其は後の事であります、尾州は兩刀が全盛で、幕府時代に免許の家が二軒あつた、幕末の劍客島田虎之介先生も二刀流ではないが二刀流を能く使つたといふ事でございます、さて宮本は山本先生に別れを告げ、君公にも御暇を乞ひ、厚く禮を述べて名古屋を出立いたし途中急いで大和國添上郡柾木坂柳生十兵衞三嚴先生の許へ尋ねて參りました、柳生十兵衞は天下三名人の一人、關口彌太郎の話しに聞いて居る、柳生十兵衞に勝てる腕があれば岸柳が討てるといふ位ゐでこの柳生十兵衞三嚴といふ人は柳生但馬守宗矩の嫡男祖父は又左衞門宗嚴といつて上州箕輪の住人上泉伊勢守秀綱四天王の一人、神陰流を更に工夫して柳生神陰流といふ一派を發明いたしました、但馬守宗矩は二代將軍秀忠公に仕へた人で竹刀一本で一萬石といはれた位ゐの名人、其人の嫡子が十兵衞三嚴、次男が刑部三男が又十郎、後に飛驒守宗冬といつて三代將軍家光公の御指南番と相成りました、兄さん十兵衞は柾木坂の陳屋に隱居、どうして隱居したかといふと此人幼少の時神童の聞へがあつた位でしたが或時フト姿が見へなくなつた、其時分は神隱しといふ事があつた、父但馬守心配して諸方尋ねましたが更に分りません、神隱し又は天狗に攫はれたものであらうといふ評判で但馬守も諦らめてしまつた、モウ十兵衞はないものと思つて居りました、然るに十餘年の月日を經過して何處からともなくブラリと立歸つて來た、父母は素より家來一同蘇生の思ひをなしたのも尤も但馬守が『一體何處へ參つて居つたのだ』と聞いても十『一向に辨へません』といふ『但何者に連れて往かれた』と聞いても十『一向に存じません』仕方がないから聞かずに置く處が十兵衞先生其頃十七八歳であるが非凡の腕前、何處へ參つて修業したか知らぬが父但馬守と立合をしても三本に二本は打勝つといふ程で家中一同舌を捲いて驚いて居ります、三代將軍家光公の御召しに依つて御前へ出る併し十兵衞其頃から慢心增長して少しく狂氣の體、病氣の起らない時は平常の通りだが月に二三度位ゐ病氣が起る、其時は親子の見境もなく傍若無人の擧動をいたす、將軍家といへども容赦なく木劍で打つから父の但馬守心配いたし家督に立てべき十兵衞であるが三男の又十郎に家を繼がして十兵衞は大和柾木坂へ隱居さした、一說には三代公の思召しに依つて諸侯の動靜を覗ふため十兵衞狂人となつて國々を歩るいたといふ事をいふが眞僞は分らない、柳生旅日記といふ書もあるが後人の作であるから信じられません、併し狂氣したといへ技術は其頃天下三名人の一人として廣大無邊なもの、諸流の武藝一として渉らないものはない、殊に天狗昇飛切の術、眞劍白刃取り、霞隱れ、松隱の太刀といふ四箇の秘法を發明した、門人一萬三千餘人、四天王といふのが森島半平、廣瀨鄉右衞門、大野直右衞門、荒木丑之助といふ、是即ち荒木又右衞門吉村といつて後世宮本荒木と並び稱された人物である、宮本武藏先生大名を承知して居るから柾木坂へ參りまして柳生先生の御陣屋を尋ねる、廣大の構へ屋敷內に森島半平といふ表札が見へたから其處へ來て『拙者は小笠原の家來當時浪人宮本武藏正名と申します、豫て柳生先生の御大名を承知いたし、一手二手御敎導に預りたく存じ罷出でました、此段宜しく御執次ぎ下さるやう』と申入れました、森島半平承はつて『御高名は豫て承はる宮本武藏先生、早速御前へ申上げます、暫時手前宅に御休息下さるやう』

泌尿器病 腎臟病 膀胱病 淋病 梅毒 痳疳 皮膚病 專門 入院隨意（診療夜九時迄） 永樂町二丁目 金光敎會隣り 安部醫院 電話一四一九番

五月七日九星 舊四月六日甲辰 本命八白 艮 閏 光 貫

▲八白● 損得損の事有り謹しみ新事見合東方は吉[illegible] ▲九紫● 親子の揃ふ日轉居旅行入學[illegible]金件求職婚禮大なる金融皆吉 ▲一白● つまらぬ噺し多き日新事手控る事は吉保證印は禁ず ▲二黑● 有難迷惑の事有り新事手控[illegible]旅行轉居は妨なし ▲三碧● 盛りの事[illegible]事手[illegible]印を防がるべし ▲四綠● 平凶の日と雖も新事控目の方吉從事工事は妨げなし ▲五黄● 働きがひのなき日有ト新事手控移轉は吉又散財を防がるべし ▲六白● 見込の立日轉居入學金件求職棟上げ漁婚觀光[illegible] ▲七赤● 啓蒙の日轉居旅行入學名弘金件求職[illegible]婚禮漁業組合時皆吉

◉模範苦學生

東京府では模範學生に給費して專門學校に入學させることになつたがそれは中學校を順序正しく卒業したものから選拔するのだ然るに獨學自修の効を全うして專門學校に入り貸費の恩典に浴した模範學生がある其は伏見[illegible]さと云つて長野縣小縣郡武石村下武石の者で今年二十一歳の青年だが小學校卒業後志を立てゝ上京したもの、學資がないので學校生活をすることが出來ず學僕になつたり藥局生になつたりして生活を支へながら神田駿河臺の大日本國民中學會の會員となり同會の中學講義錄によつて勉强を續けた講義錄でも勉强する當人の心掛一つで中學校在學生に劣るべきものではない國民中學會の講義錄を修了するや其の學力を檢するため本年二月府立第四中學校で行はれた專門學校入學檢定試驗に應じた處が中學校卒業程度の學力あるものと認められ合格免狀を下附された、同試驗に應じたものが二百二十名合格者二十二名其の中で第十位の席順であつた是に於て多年の宿望たる商船學校に入らうとし入學試驗を受けたが約七百名の入學志願者中僅々三十名の合格者中に與り加はることを得たので國民中學會では學力優秀なばかりでなく志操の堅持よく今日あるを得たるを賞し在學中の學資を貸附することゝなつたさうだ、溫和な青年で[illegible]せしむべき生活、實に學生の模範である

東京の流行界

▼東京の五月の流行と ▼新東京式のお化粧法▲

帝劇女優 森律子談

□晩春の東京は愈々□
□流行界の色めく時□

時候の替り目は流行界に樣々な現象が起るものでムいまして、流行に遲れまいと思へば餘程氣を付けねばならぬ時節でムいます。お召物、半襟、洋傘その他お手道具などに至るまで、皆新らしい流行物ばかりでムいます。殊に春から夏にかけては、流行の遷りかたが時に目に付く程でムいまして、晴れ渡つた五月晴の此頃、袷の袂は輕やかで凡べての物が華やかな色彩のものばかりでムいますが、

□流行の本場は何と□
□云つても矢張東京□

東京の流行が凡べての流行の魁となるのでムいます。所が東京の流行界は、一言に申せば華美であつて然かも高尚なものを歡迎致します。柄や色合が皆然樣でムいますが、そんなお召物などばかりでなく、お化粧までも新東京式と申しまして、華美で而して高尚なお化粧でムいますが、只今では此の新東京式化粧でなくてはお化粧と申されぬやうな有樣でムいます。此頃東京の流行界を見ますると、眞に不思議な位にレート化粧料が愛用されて居りますが、此のレートが新東京式化粧になくてならぬ化粧料でムいます。

□新東京式化粧の基□
□礎は美くしい素顏□

素顏の綺麗なのは美人の第一要件で、また美くしいお化粧の出來る基礎でムいますので、外出がちの此頃は、先づレート洗粉で汗や塵埃を清爽と洗ひ流すことが第一で、次に有名なレート乳白化粧水を整けますれば、脂肪は抑へられ、滑澤した爽快な心持になり、其上日焦をよく防ぐのでムいます。顏に艶氣の少ない方には矢張クレームレートでムいますが、之れは他のクレームと原料が異ひますだけに、顏に脂ぎつて色艶が悪びれるとか、白粉の附を悪く致しますとか、そんな恐れはなく、共に素顏を根本から美しく致します。

▲かくし化粧に天下一品、男子方にも評判のポンノリ色白くなるレートフード

□粧らぬ中に風情あ□
□るレートの淡化粧□

垢ぬけ切つた都人が、わざと飾らぬ美しさ嫻婢さを偲ばせやうと致します洒と上品で、然かも粋な淡化粧にはレート水白粉に及ぶものはムいません。レートチエリーを白粉下にすればお化粧栄え優れて良く、またクレームレートをお化粧下にしてレート粉白粉を刷きますれば、優美なお粧が出來、此頃のお化粧として至極相應しうムいます。」

□艶麗で然かも高尚□
□なレートの濃化粧□

東京では殊に濃化粧の方を多く見受けます。晴やかな大空、華やかな五月の流行、それに照榮る東京式の濃化粧には、白粉は何よりもレート煉白粉でムいますが、レート固煉白粉にレート透明化粧水を溶水と致しましても同理でムいます。始めお化粧下にはクレームレートを引きまして、そして、最後にレート粉白粉を粉刷毛で刷いて粧り上げるのでムいます。」

□粋と艶とを兼ねた□
□新東京式お化粧料□

レート白粉は分子が細かく、附伸が思ふ位になり、斑にもならず綺麗に落ちつきますので、お粧は容易に出來ますし、また肌を荒すやうなことはなく、其上奥床しい芳香が身邊に薰り、眞に新東京式の白粉として申分がムいません。尚ほ此他に、外出の時汗を取り化粧崩を直す爲めには、レート紙白粉とレート打白粉とが揃つて居ります。

ライオン齒磨本舖

新築移轉御披露

拜啓時下晩春の候に御座候處大方各位愈々御清穆に被爲渉大慶至極に奉存候、陳者弊舖創業玆に二十有餘年店舖を神田柳原河岸に開き、工場を小石川久堅町に營み、ライオン齒磨に、ライオン石鹼に、絶えず大方の深大なる御同情を仰ぎ、年々歲々鳴謝に餘る發展を遂げ、今日に於ける市場好評の中心となれる光榮を荷へる事これ偏に各位御引立の賜と感銘に不堪次第に御座候然るに事業の限なき發展に連れ、舊店舖にては執務上種々の不便利を感じ、既に昨年中本所外手町厩橋畔に新店舖と新工場との建設に取りかかり、著々工事を急がせ候處此程漸く竣成を見るに至り候儀、本日を以て右新築位置に引移り、總て新なる設備の下に諸事便利と簡捷とを期し、販賣製造共に大方積年の御恩情に酬ひたき赤誠に御座候へば、何卒舊來に倍する御愛顧を垂れ給はむことを伏して奉懇願候、先づは今回の新築移轉に際し御挨拶如是候　敬具

大正五年五月五日

東京市本所區外手町厩橋畔

ライオン齒磨 ライオン石鹼 本舖 小林富次郎

電話本所九〇、九一、九二、九三番

日本藥局方 登錄商標

◎アセチールサリチール酸

◎アセチールサリチール酸

$C_6H_4 < ^{OCOCH_3 (1)}_{COOH (2)}$

Acidum acetylsalicylicum. Acetylsalicylic acid. Acetylsalicylsäure. Acide acétylsalicylique.

本品ハ白色結晶性ノ粉末ニシテ殆ト臭氣ナク水ニ僅ニ、熱湯、酒精又「エーテル」ニ無色澄明ニ溶解ス。
本品ハ約百三十五度ニ於テ熔融ス。
本品〇・五グラム(0.5g)ニ「ナトロン」滷液十立方センチメートル(10 ccm)ヲ和シ三分時間煮沸シ冷後其溶液ニ過剰ノ稀硫酸ヲ加フレハ白色ノ沈澱ヲ生シ其沈澱ハ「エーテル」ニ全ク溶解シ又過クロール鐵溶液ニ由テ紫色ヲ呈ス又白色ノ沈澱ヲ濾過シテ得タル液ニ酒精ト濃硫酸ヲ加ヘテ煮沸スレハ醋酸「エーテル」ノ香氣ヲ發ス。
本品ハ硫酸ニ染色セスシテ溶解ス。
本品〇・一グラム(0.1g)ヲ酒精五立方センチメートル(5 ccm)ニ溶解シ之ニ水二十立方センチメートル(20 ccm)ヲ加ヘテ稀釋シタルモノハ過クロール鐵溶液一滴ニ由テ紫色ヲ呈セズ。
本品ハ熱スルニ固形物ヲ殘留セスシテ揮化ス。
右試驗成績ニ據リ本品ハ日本藥局方ニ適合シ醫療用藥品トシテ最モ優秀ナルモノト認ム。

丸見屋商店試驗部 技師 藥學士 內[illegible]

結晶性粉末 二五瓦入、四五〇瓦入

日下藥品の輸入杜絶し、バイエル商社製アスピリン及アセチールサリチール酸亦拂底を告げ價格の暴騰實に驚くべきものあり此間粗製品を多少廉價に販賣するものあれども、醋酸の臭氣甚しく惡心嘔吐食機障碍等の副作用劇烈にして到底使用に堪ゆべくもあらず、然るに◎アセチールサリチール酸は坊間販賣せらるゝ粗製品と全く其選を異にし品質優秀にして作用一定不變効力精確、毫も厭ふべき副作用を現はさず、而かも本品は一々嚴密なる試驗を經て封緘を施したれば、使用上何等懸念すべき要なく絶對的安全なり。

東京市日本橋區橘町四丁目

登錄商標 丸見屋商店藥品部

電信略號〇ミヤ 振替貯金口座東京七一〇番 電話浪花三〇、四四八、四四九、四五〇

京城日報
第三版
六日朝刊（夕刊と合せて八頁）
本紙定價　一部金三錢　一ヶ月金六拾錢　郵税一ヶ月金拾五錢　三ヶ月前金一圓七拾錢
廣告料　五號活字一行金七拾錢
發行所　合資會社京城日報社　京城太平通一丁目
發行兼編輯人　…
印刷人　…
電話番號　…　振替貯金口座京城三〇番

大阪米特電（五日）
寄付……一三、六八　一四、一八
高値……一三、六八　一四、一八
安値……一三、六〇　一四、〇八
止め……一三、六〇　一四、一〇
寄付二十四錢安の二十九錢止め二十五錢合中……と活躍したるも新規に利喰に賣物漸く多く行支へ機轉を呈したる折柄大阪止十三錢と安入電に接し八十三錢と押し再三返して三、五錢を採み合結局八十錢と强硬の散會

字治川水電……
神戸電氣……
京阪電氣……
和歌山紡……
合同紡績……

城壁周遊

京城日報

九十の春光、將に徂かんとし、櫻杏、桃李、既に其の半以上は、梢頭を謝して、滿目清翠、杜鵑未だ來り啼かずと雖も、京城の天地は、今や綠世界と化せんとす。薰風は詩を誦するに好く、樹蔭は讀書三昧に入るに可にして、活動の時期は來れり。

能く働く者は、能く食し、能く眠らざるべからず。而して初めて、其の健康を保ち、其の活動をして充分ならしむ。身體の健康は、之れ吾人が多大の財產にして、健康不良の人は、其の財產を失ひし不幸なる人間たりと云ふべし。健康の不良は體力の衰弱を示せる證據にして、國民の體力衰弱は、やがて邦家の大問題たり。試に我國民の體力を見るに、漸次衰弱に傾きたるの觀あるは、洵に悲むべき事にて、之れを其の統計に徵せば、明治十九年男子の享年は平均三十八歲一分三厘、女子は三十八歲九分一厘なりしに、明治四十三年には男子三十歲九分九厘、女子三十一歲三分六厘に減じ居れり。次に死亡率に就て見るに、明治十九年より、明治四十三年迄、即ち二十五年間に於て、平均死亡率を通算すれば之れ亦漸次死亡率の增加を見る。年々歲々、國民死亡率の增加は、國民の體力、漸次衰弱に傾きつゝあるを證明するものにして、之れをして國家の深憂大患と云はずに、又た何をか云はんや。然らば如何にして、之れを回復すべきやと云に、其は唯國民の心懸に待たざるべからざる也。心懸とは何ぞや、乃ち國民自身が、各々其の健康を保持するにあり。智育、德育、もとより缺ぐべからずと雖も、體育の全きを以て、智、德の完全を得べく、即ち知る、健然なる精神は健康なる身體に宿る事を。

吾人は既により、此の點に留意熟考し、我半島の國民をして、母國の其れの如く、國民體力の衰弱を防がんが爲め、京城を中心として、各地方に向つて數年來盛に運動の獎勵に努力せり、我社の盡力もとより、大海中に投せられたる小石の如きも、其の餘波の及ぶ處は、遂に半島の運動界をして、其の隆盛を叫ばしむるものあるを思ふ。今回我社主催の、京城城壁廻りの壯擧も、亦一片此の理由に依れり。此の擧や天然の偉大に接し、自然の美に憧憬し、趣味の向上を促し、史跡を探究し、詩興を肥すに足るべく、慰安を貪るに充分なるべし。同好の諸君來れ、來つて吾人と共に一日の運動を縱にし、大に清遊を試みん哉。

朝鮮の製紙業

復興策攻究

過日京城工業專門學校開校式の折臨席せる寺內總督が來賓室に於て「從來朝鮮に於て生產したる製紙の大部分が支那方面に盛んに輸出され居たるにも拘らず近來著しく其の數を減じたるは誠に遺憾なり何とか復興の方法なきものにや諸君の考慮を煩し度し」と語りたるを其席に居たる趙重應子は一方ならず感動し必ず其意を享けて實行す可き旨を答へ其後趙子爵は商業會議所特別議員たる關係上朝鮮製紙業獎勵の議を建策したり

▽會議所の實行策　右に付き會議所も趙子の意を諒とし早速實行に著手することゝなり別項の如く五日紙商の主なる者を招きて善後策を講究することゝなりたる次第なり

朝鮮の製紙工業の狀態を見るに慶尙北道慶州、慶尙南道三嘉、陝川、全羅北道全州等の地方に生產するもの多く製紙原料は楮、三叉等を以てす其の製出額も年額五十二三萬圓に達し居り內十數萬圓は支那に向け輸出されつゝあるものなり然るに從來支那向の輸出品は二三十萬圓餘に達し居たるが近來は建築に硝子窓を設くるもの多きと他の一面には鮮人の製紙方法頗る簡單にして紙盤も一定せざるため需要者側の不便甚しく遂に彼是の原因に由り輸出の衰退を來すに至りたり

▽露領の需要　然るに茲に著目す可きは露領西伯利亞に於ける家屋の建築には從來支那製或は自國製の紙を壁張に用ひ恰かも朝鮮に於ける溫突張と略同樣の用途に充てられ居たるも嚴寒凍結の際は龜裂を生じて不都合なるに比し朝鮮產の純製（紙俗にキズキと稱するもの）は耐久力に富み有望なりとの聲價を得最近那々此方面に輸出を見んとしつゝあるは朝鮮製紙に取り有望の新顧客を得たりと云ふ可し

▽將來の見込　故に若し會議所等の商工指導機關が中心となりて製紙法を改善し需要者側の意見をも容れて製造せば支那の需要を挽回するのみならず前記露國方面への輸出も旺盛を見るに至るべし趙重應子は全鮮を一括して大改良を爲さんとすと雖も差當り京城を中心として獎勵を行はゞ他は自ら之に倣ふに至る可しと云へり因に原料は全部野生のものなれど人工栽培を行はゞ多量の產額を見ること到底內地の比にあらざるべしと

大阪だより

青霞生

○近時一般會社株主の中には然るべき紳士にして所謂會社ゴロを使嗾し惡辣なる策を弄するもの有之、會社も又毒を制するに毒を以てしゴロを使ふて之に酬ゆるなど百鬼夜行的の總會開かるゝ時節注意を要し候

○工業界活況の折から如何はしき會社屋多くなり目論見家を見れば大底當初より多くの配當を計上しあり杜撰と申すよりも不誠實なるもの多々有之候、皮の薄らかな人々は何うかすると釣り込まれ候、是亦戒心を要する時なり

○露國大藏證券再發行に就ては交涉進捗せる模樣なるが小山三四銀行頭取の談によれば、露國政府は軍需品代金支拂のため是非共藏券を發行して其の支拂に充當せざる可からざる羽目にあるを以て再發行は豫定の事實に過ぎず大體に於て軍需品代支拂のため尙ほ少くも一億圓の藏券を我邦に於て發行せざるべからざるが如くなれば今後連續して發行さるべく今回の分は果して何程なるや其の金額確定せざるため從て條件等も未定の由に候

○日本郵船及大阪商船は協定して又復運賃航路往航運賃率を左の如く引上ぐる事に決定し其引上實施期は同航各港行箱板、茶箱、護謨箱、石油箱等の製造原料）及び香港行綿絲に限り八月一日以降他の商品は各港行を通じて七月一日以降に候

○藥品相場暴落のため窮地に陷れるものあり三日の藥品取引手形決濟日を氣遣ひ居候處、幸に一、二商店の手形支拂を猶豫申出でたる外總て圓滑に行はれ申候、藥の相場は高値時代に比して一般に三割方の低落を示し居り候

○藤田男の令弟德次郎氏は曩に令夫人を失ひしが今回後添を迎ふ事に相成り候、新夫人は三井源右衞門氏の令妹治子と申候、治子は當年二十九京都府立第一高等女學校出身の才媛なり、東西富豪の握手一門一族の繁榮轉た欽羨に禁へず

○久原鑛業の今期收益は二千萬圓と傳へられ、經費其他に七百萬圓を控除するも千三百萬圓の純益をあぐる見込にて同株は非常に一方の佳境に進み買氣を唆り新百五十圓際に躍進して十圓高と相成り候、此の趨勢を以てせむか定期の建株によるの曉は更に興味深き相場を現はす事と存候（三日大阪支局にて）

歐洲戰後の財政經濟（三）

我國戰後の要意奈何

參列委員長　阪谷男爵談

△戰後經營と增稅　次に起る問題は各國が起した鉅額の公債を最初は十年二十年と期限を切り替へるとしても、其の元利を如何するかである。今日見受けるところでは、列國中公債の元利を支拂ふ丈けの增稅をして居るのは英國が一番である英國では一年二十億の歲計を約三十億殖やして五十億となし、それ丈け增稅をした。それが爲めには國內に段々不平が起り來るを免れぬ。殊に戰後の增稅は最も困難であつて、社會黨の不平などが大に高まつて來る憂がある。此等國民の不平を少くして增稅せんとせば、即ち增徵の目的たるもの、種類につき充分考へねばならぬ。內國稅の增徵は種々困難が伴うとすれば先づ海關稅の如きは自然增率せざるを得ぬに至るであらう。然らば從來輕い負擔であつた關稅を今後重からしめる事ともなるであらう。又內國稅を重くすれば、從つて國內の工業を保護せねばならぬ事となる、增稅の結果事業界が打擊を受け、利益が少くなつて配當が減じ、株が下落する。さうなると英佛等の資本家は自國の不利益な事業に投資するよりは寧ろ米國の事業に資本を振り向けようといふ者も多くなつて來るであらう。此れを防ぐには種々の手段を執らねばならぬが要する事に成るべく國內の資本を可愛がつて外に行かぬやうにせねばならぬ。それには國民が儉約し贅澤を廢め、資金を充實せしめるやうの方法も必要となるであらう。

△公債政策と金融　觀じ來れば此の戰爭の結果、十九世紀以來著しく增進し來つた通商航海の利便が戰爭の一段落と共に多少不自由となるべきは今日より覺悟しなければならぬ。又た公債が增加すれば金融をして逼迫ならしむることは勢ひ免れ難い。日本でも往年鐵道公債や水力電氣社債などの多額に起された爲めに金融界に恐慌を來した例もある。今度の戰爭では無慮千五百億といふ巨額の金が無意味に消費されたのであるから、從つて生ずる經濟上の影響は至大である事は言を俟たぬ。

△日本の執べき途　此度の戰爭で米國と日本とは、自然に經濟上好結果を收めて居る。日本は交戰國の一つではあるが、兵力と金力とを費す事少なく、其點は都合の好い位置にある。戰鬪國を扶けて其の軍需品の不足を補ふ地位に立ち、素より米國とは比較にならぬが、日本は之が爲めに輸出超過の順境に坐して居る。故に我國は戰後金融逼迫等の壓力に耐ふる力を有して居る譯である。殊に輸出超過により得たる所の日本の利得は成るべく支那其他の市場に有利に活動せしめることが大に必要である。今や獨逸其他の商品が支那南洋方面の市場より驅逐されたる間に日本品が割込んで行つて居るのであるが、併し戰後となれば彼等は再び市場を回復すべく大に努力を盛り返して來るであらう。その勢力に向つて日本は戰時利得したるものを以て充分に對抗し、全部は困難であらうとも少くも過半は失はずに之を保持するに努むべきである。此點は我が商工當業者も一致して自覺して居る事と思ふ。

△經濟調査會の職分　又之が爲めにも政府は廣い意味の經濟調査會を組織して、財政經濟の調査を爲す事となつた。彼の獨逸が克く今回の大戰に堪へ得て、一寸たりとも自國を侵されずに奮鬪を繼續する所以は、其の經濟力の大なるに依り、其の經濟力の斯く大なるは、全く獨逸が多年秩序的に商工業を始め經濟上の調査を爲し來り爲めに其の經濟界が秩序的に發達したるに因るものである。敵ながらも此點は大に學ぶべきである。勿論獨逸が戰爭を仕掛けた事や、又その戰爭の遣り方の殘酷な所は憎むべきであるが、敵としても其の良い點は學んで差支はないのである。我國の經濟調査會なども此點に鑑みて設されたのであらう。其目的は戰時中並に戰後の經濟に關して最も秩序的に組織的に研究調査するに在ると心得る。私の今回巴里行の使命については責任上其の內容等は詳しく御話する事は出來ぬが、但だ使命の內容に關係のない點について意見をお話すれば以上の如くである。（畢）

京日詩壇

○初春曉眠　栗原　華陽
簾中暄暖醉春來。今日新寒疑律回。啼鳥未還喬木裏。四山曉色雪皚皚。
評曰　句句能寫作臘今春之實況。

○春日書懷
三四流鶯……。北高南山彩新。東郊西郭踏靑蹄。家別有關情事。飾入陽春未識春。
評曰　亦如右

○南山靈　森　半狂
蒼松樹下碧苔斑。斷壁摧嵬溪水潺。可愛香風吹入袖。濕花黃蝶草叢間。
評曰　風姿婀娜

○北漢山
峻峭嶙峋似金剛。吞吐白雲磨劍鋩。……
評曰　壯快

○偶成　望月　桂軒
身邊塵十丈。心與白雲閒。一夜踏仙鶴。悠然離俗寰。
評曰　超然身世、睥睨塵寰。

○示海關諸伯　江原　如水
……新。春荊爲配石爲賓。……可不孤必有隣。
評曰　襟情雲散、龍諧雨霽。

日報歌壇

□春の夜は　京城　淑郎

カーテンをもるゝ向家の窓の灯よあはれや春の夜はねたまし
春の夜のなやみはうすき桃色に彩られてありてきけば悲しも
なつかしきこともあらんと春の夜は灯のまへにつゝましくあり
おぼろにも月みちくればひそやかに思はぬことに夜を更しぬる。
時ありてこの君すらもあさましく芥藻屑とおもふことあり。
花のなき草も伸びゆく春の日は思ひあふれて淚ながるゝ
愛染の笞にいたくきづつきし心なれどもなほおのれもつ
わが夢のつくきなるらしあけがたの黃蠟の灯とあかき星眸

社告

新活字鑄造中の處今回全部完成せしに就き新舊活字入替工場整理の爲九日（火曜日）朝刊一回丈け休刊同日夕刊より平常の通り發行可致右謹告候也

京城日報社

新活字入替の爲め九日の朝刊を休みます

△現物界　……十五錢より七十錢迄……力弱……前場……米十四〇五……九十錢迄等にて力弱……

五日の七月限
六月限
五月限
七月限

地方金融組合登記公告

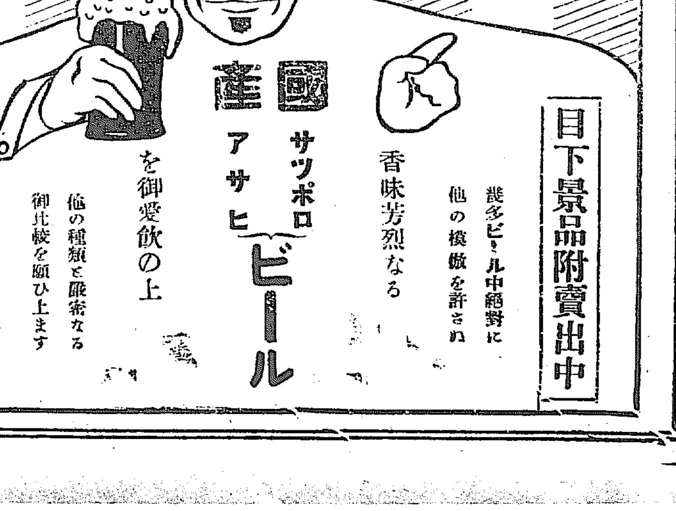
平康地方金融組合登記事項中出資總口數ヲ參百貳拾參口拂込ミタル出資ノ總額ヲ……ト變更ス
伊川地方金融組合登記事項中出資ノ總口數ヲ……拂込ミタル出資ノ總額ヲ……ト變更ス
……地方金融組合登記事項中出資總口數ヲ……拂込ミタル出資總額ヲ……ト變更ス
淮陽地方金融組合登記事項中出資總口數ヲ……拂込ミタル出資總額ヲ……ト變更ス
金城地方金融組合登記事項中出資ノ總口數ヲ……拂込ミタル出資總額ヲ……ト變更ス
金化地方金融組合登記事項中出資總口數ヲ……拂込ミタル出資總額ヲ……ト變更ス
右大正五年四月二十九日登記
京城地方法院鐵原支廳

タングステン

用手廻搗鑛機及大マグネット中根式鐵山機械は始政五週年記念物產共進會に於て一等賞牌を授與され鮮唯一の光榮を得たる最初の受賞者なり
京城大門通五　電話一〇四番
中根商會
實費分讓　目錄無代進呈

タリヤ

京城西大門外竹添町三丁目
東京千草園分園



サッポロ　アサヒ　ビール
香味芳烈なる
幾多ビール中絶對に他の模倣を許さぬ
を御愛飲の上
他の種類と嚴密なる御比較を願ひ上ます
目下景品附賣出中
御注文の好期節……

創業二十年記念特價發賣

簡野道明先生著　記念新刊
論語解義
現代斯界の泰斗簡野先生、夙に論語の研鑚に志し沈潜講究茲に數十年群經に徵し遍く之れを先哲に考へ半生の蘊蓄を傾倒して本書を大成せらる即ち本書は章毎に釋語・章旨・字義・直解・考異・餘義の六項に分ち極めて精細親切に之を講述せられ且索引を附す。考證博大、解釋嚴正、論斷穩健、本書出でゝ論語の眞價と光輝とは現代的に發揮せられたりといふべし
內容見本進呈
特價金貳圓　定價金貳圓五拾錢　天金クロース全一冊　小包料十六錢

簡野道明先生著　增補故事成語大辭典　原版本 背皮製 全一冊 定價五圓五十錢 特價四圓四十錢 送料廿四錢　（縮刷）本定價三圓五十錢 特價二圓八十錢 送料十六錢
南條文雄・藤井宣正・島地大等師校補著　佛教辭林　背皮製 全一冊 定價四圓五十錢 特價三圓八十錢 小包料十六錢
桂湖邨先生著　漢籍解題　洋布製 全一冊 定價三圓 特價二圓四十錢 小包料十二錢
簡野道明先生著　和漢名詩類選評釋　天金 全一冊 定價一圓七十五錢 特價一圓四十錢 小包料八錢
金子元臣先生著　古今和歌集評釋　洋布製 全一冊 定價二圓八十錢 特價二圓三十錢 小包料十六錢
鹽井正男先生著　新古今和歌集詳解　洋布製 全一冊 定價三圓八十錢 特價金三圓 小包料二十錢
內海月杖先生著　平家物語評釋　洋布製 全一冊 定價金二圓 特價一圓六十錢 小包料十二錢
和田英松・佐藤球先生著　修訂增鏡詳解　洋布製 全一冊 定價二圓五十錢 特價金二圓 小包料十二錢
和田英松・佐藤球先生著　榮華物語詳解　和製 全十七冊 定價金八圓 特價金六圓 小包料十二錢

特價期限本年六月三十日限り

東京神田錦町
株式會社 明治書院
電話本局二四三八番　振替東京四九九一番

袁總統段國務反目

袁總統の不平＝段祺瑞部下の密計

兵權授受に關し段祺瑞の無遠慮なる處置に不平を抱ける袁總統は財政上より密かに段を苦しめんとし屢々梁士詒を招き密議し居れり而して一方段の部下は段を總統たらしめんと企て居れるが袁總統は馮國璋に對して密かに人を派し段の意見は自己の意見と異なり居れば信ずる勿れと傳へしめたる形跡あり之等の爲め袁總統と段との感情日に阻隔しつゝあり（北京特電）

佛軍陣地形勢改る

佛軍のモルトム丘に於ける勝利は擴大され且益々強固となりたり又ミューズ河地方の全線に渉れる陣地の形勢は改善されたり最近數日間の戰闘に於ける獨軍の損害は極めて莫大なり尚サンミエールの東部に於て佛軍は優勢なる獨軍の偵察隊を撃退せり（倫敦電報）

製鐵業調査會要項

六日の官報を以て公布せらるべき製鐵事業調査會の要項左の如し（東京特電）

（一）製鐵業調査會は農商務大臣の監督に屬し其諮問に應じ製鐵業に關する事項を調査審議す
（一）調査會は前項の外製鐵業に關する重要事項に就て關係各大臣に建議する事を得
（一）調査會は會長一人委員二十人以内を以て之を組織す
（一）特別の必要ある時は前項の外臨時委員を置く
（一）會長は農商務大臣を以て之に當つ委員は高等官及び學識經驗あるものゝ中より之を命ず
（一）調査會に庶務整理の爲め幹事及び書記を置く

兵器貯藏所

佛軍の爲破壞さる

白耳義海岸に於ける獨軍の兵器貯藏所は此程佛軍の砲兵隊に依りて破壞されたり（桑港電報）

兩陛下行幸啓

上野海事博覽會へ

天皇皇后兩陛下には御同乘にて五日午後一時三十分宮城御出門波多野宮相以下侍從武官長侍從長其の他供奉員を隨へさせられ目下上野公園に開催中の海事博覽會に行幸啓あらせられ同會總裁東伏見宮並に同妃殿下以下會長有地男等の奉迎を受けさせられ便殿に入御御少憩の後有地會長の御先導にて各館を仔細に御覽ありたる後數十點を御買上あらせられ五時御機嫌麗はしく御還幸啓遊ばされたり（東京特電）

瑞西公使親任

五日左の如く瑞西公使親任ありたり（東京特電）

大使館參事官　三浦彌五郎
任特命全權公使瑞西駐劄被仰付

上院議員補缺選擧

廣島縣選出多額納稅議員八田德三郎氏は三月二十七日辭任せしに付五日部書を以て貴族院多額納稅者互選規定に依り同縣に於て之が補缺の選擧を行ふべき事を命せらる（東京特電）

宇野上院議員

青森縣選出多額納稅議員宇野清左衞門氏は四日貴族院事務局に辭表を提出したり（東京特電）

宇垣少將旅程

參謀本部第一部長陸軍少將宇垣一成氏は五日朝釜山着同十時三十分發列車にて安東縣迄直行したるが同地より西北に向ひ滿洲各地を視察の上大連に引返し各師團參謀二十餘名の大連に到着するを待ちて三十七八年戰役の戰跡を歷訪し實地戰術講話及び歐洲戰爭に於ける最近の戰術戰略との比較研究等を爲し歸路は朝鮮國境の防備朝鮮内地の地理情勢等を視察して六月十日頃歸東の豫定なり（釜山電話）

露國の輸入政策

露國政府は向後白海に於ては軍備に關する物を除く外政府の許可なしには一切の輸入を禁ずる旨東京大使館に通牒ありたる由倫敦總領事館にも通牒ありたりと

未墾地の開拓

國有地の貸付面積

鮮内の未墾地は開拓上有望のもの尠からざるより之れが開墾を爲す者近年著しく増加せり而して河邊未墾地の一部山麓の傾斜地並に干潟地の大部は其面積概ね廣大なるを以て是れ等の開墾は近時資力を擁する事業家の嘱目する所となり之が利用を企畫する者多く一方小面積の未墾地も亦小農民の手に依りて開拓を見るに至れるは土地の開發上喜ぶ可き現象なりと謂ふ可し今昨年度中に於ける國有未墾地の貸付出願數並に貸付地積を見るに出願件數二百八十四件此面積一萬二千十一町步の内許可を得たるもの百二十五件三千七百十八町步にして許可件數中事業成功の廉を以て附與されたるもの百六十七件六百二十九町步を算し又從來の未墾地開拓出願者數は合計三千八百三十件地積二十九萬二千六百二十三町にして其内許可せられたるもの二千四百五件四萬四千三十八町步を數へ事業の成功に依りて附與されたるもの三百五十八件一千七百三十五町步に達せるが尚ほ現下貸付中に屬せるものに在りても概ね事業に著手し其進捗を計り居れりと

煙庫委託賣高

大正四年度に於ける鮮内葉煙草倉庫委託賣上高を聞くに龍仁四萬七千七百六十七貫價額三萬四千七百五十七圓清州十二萬二百二十八貫價額五萬三千六百五十六圓金化九千二百五十六貫價額五千五百八十圓合計十七萬七千二百五十一貫にして總賣上高九萬三千九百九十三圓を算し且つ何れも其收納量の全部を賣却したり而して之れを前年度の賣上高に比するに數量に於て十二萬四千八百四十貫價額に於て五萬九千九十四圓の増加を見頗る良好の成績を示せり

郵貯八百萬圓

四月中に卅萬圓の増加

四月末に於ける朝鮮郵便貯金の現在高を聞くに八百零七萬餘圓にして之れを前年度末の三月下旬に比すれば約三十萬圓を増加し居れり普通四月は更衣期並に遊山季節なる爲め貯金は預入より拂渡し多きを普通とするも本年は前記の數字を現はせしは多分新年度に入り各道地方駐在の國庫金前渡を受くる官吏が其の前渡を受けし金額を地方郵便局に預入せる爲めの増加なるべきかとも云ふ尚ほ五月末は郵貯決算終了し利子約三十萬圓を加へ更に五月は郵貯増加期に付總額八百四五十萬圓を算し朝鮮郵貯の新記録を作るべしと

家蠶掃立開始

本年は餘寒嚴しかりし爲め例年に比し桑葉の發芽に多少の遲延を免れざりしも其の後の天候適順にして昨今著しく發育を示せるより春蠶の掃立期は例年に比して何等の遲滯なきを得南鮮地方の如きは昨今續々掃々に著手せり京城附近に於ても十三四日頃には掃立を見る可く北鮮地方も早きは二十日を過ぎざる可し因に本年は生絲界稀有の好況を呈せるより鮮内の掃立枚數も亦前年に比すれば非常の増加を見る可しと觀測されつゝあり

清會線工事

清津會寧間工事は豫定の如く工事進捗し清津章興間十四哩七は土工工事六分五厘橋梁工事二分六厘總體を通じて六分通り成工し章興古茂山間十三哩九分は土工工事七分八厘橋梁工事六分五厘總體を通じて七分七厘の成工古茂山全巨里間は土工々事六分七厘橋梁工事四分八厘隧道は第一茂山隧道既に貫通し殘るは唯第七隧道のみと成り總體に於て六分五厘通りの成工なり

咸北輕鐵現狀

大正八年度を以て全通すべき清會鐵道の爲め其運命を短縮せしめつゝある咸北輕便鐵道の現狀は營業線七十五哩係にして昨年四月より本年三月末迄の之が營業成績は荷物發車運行總車數四萬八千九十二臺にして運搬荷物一萬九千八百七噸に達し運賃十三萬九千廿二圓なり客車運行總數は二萬八千九百四十七臺乘車人員五萬九千百三十七名之が運賃五萬七千九百二十五圓にして總運行臺車數七萬七千三十九臺なり（清津）

出漁船歸へる

北鮮沿岸より露領沿海州地方へ鰊買出に赴ける朝鮮漁船は四月一日一隻の歸航を初めとし引續き連日數隻宛の歸航あり中旬に於ては甚だ旺盛を極め一日二十隻内外の歸航を見るに至れるが此等一隻の積載鰊は大略七八萬尾にして同月二十日迄の入港漁船は九十五隻其總積載鰊は七百五十萬尾に達せり而して以上の期間内に露國々籍帆船二十五隻日本帆船二隻其總積載鰊二百二十六萬餘尾の輸入ありしを以て同月一日より二十日迄の總輸入數量は九百七十六萬餘尾其價格六萬三千圓に達せり之を前年に比較するに前年は四年中に於て約八百萬尾四萬五千圓の輸入ありしに過ぎざるを以て既に二萬尾一萬七千圓の増加を示し之を前年四五月の總輸入數九百二十五萬尾五萬圓に比するも尚五十一萬尾一萬二千餘圓の増額を來せるの盛況なり而して本年清津警察署に於て露領渡航旅券の下附を得て鰊買出に赴ける朝鮮船は百八十四隻に達せるに二十日に歸來せるは九十二隻にして其約半數に過ぎざれば其餘は幾分雄基等に入港するものあるも尚ほ多數の歸航船あるべく現に二十日以後に於ても日々數隻宛の歸航あれば今後に於ける輸入數量も尠なからざるべくされば本年の浦鹽鰊總入は前年に比し數割を増加するに至らん相場は當初一駄（二千尾）二十四五圓を唱へしも輸入増加と共に遞落して十四五圓より更に下落し十七八日頃一駄十圓を唱ふるに至りしも其の後持直して昨今十二三圓を維持しつゝあり輸入鰊は殆んど生鰊にして鹽鰊は少許に過ぎざるが氣候の關係上生鰊の傷み漸次多きを以て今後は鹽鰊の輸入を見ん其假路は一部分地方に消費さるゝも其大部分は鹽造として釜山元山に仕向けられあり其荷造費及び諸掛は陸揚賃（漁船より）一駄二十五錢荷造費七十錢以代一圓二十錢（九枚）總計二十三錢三圓船積六十三錢運賃釜山迄六十錢元山迄四十錢なり以上の如く本年の浦鹽鰊輸入は例年に倍する盛況なるを以て清津埠頭は頗る殷賑を呈し市況も少なからず活況を來せり（清津）

露貨下落

日滿聯絡貨物引換代金換算率日本側の場合は五月六日より當分の内露貨百留に付日貨六十五圓に變更せられたり

宇垣少將通過

宇垣參謀本部第一部長は本部員服部騎兵少佐馬淵步兵少佐高橋砲兵大尉を隨へ五日午後九時南大門著同夜直に北行せり

市川少將著發

步兵第三十九旅團長陸軍少將市川堅太郎氏は部下將校二名下士三名兵卒一名を隨へ五日午後五時九分元山より龍山着同九時五十分發列車にて平壤に向へり

七十七聯隊發著

步兵第三十九旅團第七十七聯隊本部及び第一大隊（第四中隊缺）將校二十名下士卒四百十八名は五日午後十一時二十六分龍山着列車にて元山より到着新義州へ向同聯隊第四中隊將校十六名下士卒百八十八名も同列車にて到着平壤に向へり

朝鮮人と郵便物

大正四年度朝鮮全道に於ける通常郵便物の引受總數は八千四百八十八萬通にして前年より九分五厘を増し又朝鮮人の發信數一千八百五十六萬二千通にして其の利用未だ甚だ幼稚なるも前年より四分八厘を増せり而して朝鮮内地間の普通通常郵便物數は引受二千三百九十二萬通配達三千百四十三萬二千通にして六分乃至一割二分を増加せり

金剛山探勝と朝郵

朝鮮郵船會社にては來る六月一日より十月末迄五箇月間元山長箭間航路就航船の發著を増加し金剛山探勝客の利便を圖る事となりしが六月は元山及び長箭相互間發十二回七月は十三回八月は十二回九月十二回十月十三回にして毎月六航海乃至七航海を航行する穩城丸及び鏡城丸は元山より往航通川に寄航し叢石亭の望見をなし得べしと

京畿道の新植林

京畿道本春の國有造林事業は高陽郡恩平面崇仁面等の大部分を占むるものにして其他京城府に於ける各國有林に於て客月九日以來植樹に著手し本月中旬頃を以て終了の豫定にて目下極力實行中なるが樹種は赤松、黑松、ニセアカシヤ、ヤマハンノキ、白楊樹クヌギ等にして植付反別及び植付本數左の如し

砂防新植林	四四	二五八、八〇〇
普通同	三〇〇	一、八一三、五一三
砂防補植林	二一四	二八三、四二五
普通同	一三三	九八、九六六
計	六九二	二、四五四、七〇四

慶北水利工事進捗

目下工事中なる慶北水利組合の土工は約五分通り進捗し是に投じたる金額約二萬圓の由にて爲に昨年水害の爲め困憊せる地方鮮民の生活に利する所多大にして最初は事業進捗上多少の障碍ありしも今は順調に進みつゝあり豫定の如く六月十日迄には通水式を擧ぐるに至る可しと（大邱）

慶北不要存林貸下

今回發表されたる慶尙北道星州郡管内にて貸下げ得らる可き不要存林の重なるものは第一、船南面中州峯百十二町七反餘貸付料十一圓二十七錢地況傾斜二十度砂質壤土にして星州邑を距る約二里第二、船南面聖峰山三十六町六反餘貸付料三圓六十六錢傾斜二十度砂質壤土星州邑を距る二里にて星州大邱街道に接せり第三、龍頭山龍興洞六十一町四反餘貸付料六圓十四錢傾斜十五度砂質裸地星州邑を距る二里高靈に通ずる道路に接せり第四、星州、大家兩面に亙れる大星山にして百六十五町九反餘貸付料二十六圓五十五錢傾斜二十度砂土又は砂質壤土星州邑内を距る約一里なり第五、碧珍面中里にして二百七十八町步餘貸付料三十四圓十七錢傾斜二十八度砂質壤土星州を距る三里倭館に六里半にして牛馬を通じ得る便あり第六、碧珍面馬跡山にて百十二町八反餘傾斜二十五度星州邑に二里倭館に五里半牛車を通じ得べし尙ほ委細は道廳に就て問合す可しと（大邱）

京畿道教育文庫

京畿道にては嚢に管内公立學校教員の學事研究資料に供せんため京畿道教育文庫設立準備中なりしが愈今回決定したり同會の藏書は法律、道德、倫理學等約二百種ありと

大原鮮銀秘書役

新任朝鮮銀行秘書役大原胤夫氏は三日内地より著任したるが五日本社を來訪せり

人事消息

▲志村勸銀總裁一行　入京中の處六日午前九時十分南大門發北行の豫定
▲古川學之助氏（碧山莊）　五日朝入京不知火旅館へ
▲藤本元太郎氏（彌生商業會社支配人）　五日夜入京不知火旅館へ
▲高尾新右衞門氏（大阪朝日記者）　同上
▲西崎鶴太郎氏（鎭南浦煙草家）　六日朝入京浦尾旅館へ投宿の豫定
▲宮澤五郎三郎氏（平壤電氣會社々長）　五日夜入京浦尾旅館へ
▲金井清氏（滿鐵參事）　入京中の處四日朝退京
▲森川庄吉氏（滿鐵技師）　同上
▲伊藤常大氏（同）　同上
▲服部次郎氏（代議士）　同上
▲木村修次氏（東京倉庫支配人）　入京中の處五日朝退京
▲吉田文義氏（二等軍醫）　入京中の處三日夜退京
▲大池忠助氏（朝郵理事）　同上

南言北語

段香岩將軍の後釜に據つた張雨亭將軍の總督振りは大分内外人の目を惹いて居る▲が却々得意らしく南方の張勳と馮國璋とがヘッタン然として居るのを見と直に張勳に清朝復辟の密電を送つたり▲奉天では内應外親大に努めて居る▲此の向なら馮麟閣等が不平不滿でも鳥渡手の出し樣はあるまい▲其處で雨亭將軍グット反り身になつて居ると▲北方の空に急に入道雲がムラ〳〵と現はれて吉林省迄も荒しが來さうな▲黑龍江が獨立の宣言するのは其の入道雲を破つて迅雷が打ちこけた樣だ▲奉天でも浮つかりして居ると其の雨脚が來ぬとも限らぬ▲南亭將軍の之れからの腕前が見ものだ▲政友會の小久保喜七君先達の長野の補缺戰に出馬し各所で盛んに米價調節問題を提げ▲内閣攻擊のメートルを揚げたが一向聽衆が感じない▲其れも其の筈長野地方は蠶糸業地なので米の高下には何等痛痒を感じない▲のみならず或る演說會では無名の一靑年が無理に開會の辭を希望した▲諾やれと云ふと飛び出した靑年は米價の下落は内閣のお蔭ではないと見事に小久保君の得意の米價演說を打ち壞した▲之れを聞た喜七君スッカリ悄氣て最う米價は打ち切りだ▲以來小久保君は米價を口にせなかつた相な▲七日周遊の京城々壁を見ると所々築造者の名前がチャーンと彫んである▲東京の數寄屋橋を變した時にも立派に時の普請奉行の名前が殘つて居たと云ふ▲名古屋城でも江戶城でも大阪城でも皆其れ〳〵築造者の名前が殘つて居る▲朝鮮でも日本でも昔の人は洵に責任を重んじたものだ▲今時は建築も進んで某な工學博士など立派な專門家などが築造するものも尠なくはない▲而も其の築造者の名前を廢さない處は技術のみに依て後世に技倆を示す積りか▲其れとも何かの都合があつてか

仁川近海の漁業近況

仁川近海に於ける最近の漁況を聞くに四月末に…

も群山江景方面に氷鱶をなし漁を以て前年同月に比し一千餘圓減額を示せり而して地魚と

く月末…日鮮漁船の續々來港しつゝあるを以て本月に比し五月は相當

は京城及び龍山三割仁川市内四割其他の地方三割なりと

九三五名合計二六、七六七名なり尚檢閲船舶は内航一、五一一隻、檢閲人員

一五、六六八噸、外航汽船二四〇、一〇〇噸、帆船三、五七八、…計二

本店は上海共同租界…八號に設置し工場は當初上海に設置し事業の進

の贊成者ありと云ふ株式は發起人及

歲位の鄕人男が餓死し居るを巡回中の線路工夫が發見して直ちに同

各國時計　自轉車　蓄音器
直輸入　卸商　喜多金光堂
京城黃金町二丁目（電話一〇一五番）　振替口座七八二番

板硝子直輸入商
釜山本町一丁目　村上商店
電話百十九番　振替京城一四五番
◎相場表御一報次第贈呈仕候

小說
貸本業者諸彼物新小說大阪版東京版御用御安く一切揃ふて居ます◎目錄は入用致します三錢郵券◎照會は往復端書
大阪市三休橋筋順慶町谷南　小說專門卸問屋　樋口隆文館

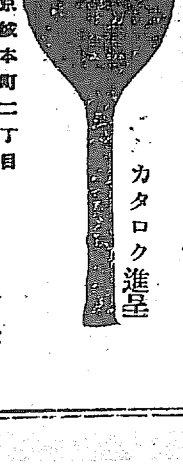
各種製粉機
◎小麥製粉機　◎雜穀製粉機　◎肥料製粉機　◎其他製粉機　◎工業藥品製粉　◎染塗料製粉　◎化粧品用製粉　◎香料製粉
◎黑田式製粉機各種　◎フレッド製粉機　◎有無限ロール製粉機　◎含水物製粉機　◎回轉篩選粉機（荷師）　◎目的の製粉名稱に郵券二錢添へ申込あれば見本及說明書送呈す

製粉機專門製造　黑田鐵工所
大阪東區谷町八丁目

日韓書房　新版報告
竹越與三郎著　增補訂正　二千五百年史　定價三圓五十錢　送料十八錢
金子堅太郎著　黑田如水傳　定價二圓八十錢　送料十八錢
川口西三郎著　銀行簿記精義　定價二圓　送料十八錢
ベロヰッツ回想記　歐洲政界奇談　定價一圓　送料八錢
中村茂男全譯　新譯　改良複式簿記　定價一圓五十錢　送料十八錢
京城本町二丁目　日韓書房　振替口座一五四一二　電話二二一・二七五

朝鮮銀行
當銀行ハ預金、貸附、爲替等一般銀行業務ヲ確實親切ニ取扱申候
京城
支店出張所　東京、大阪、平壤、仁川、元山、大邱、釜山、鎭南浦、群山、木浦、馬山、羅南、會寧、新義州、安東縣、奉天、大連、長春、開原、四平街
右ノ外内外主要ノ地ニ爲替取引先有之候
振替貯金口座京城三三二番　電話（局）三三二、六一一、一二六一

奇拔無比の五月號
生活
召されたお座敷　柳家小さん
▲大學閥以外の醫學博士……山莊主人
▲新聞が書かない新聞……うさぎ馬
■大和民族の滑稽味　山路愛山
■今日の中學卒業生　手島精一
▲金融業者が取る擔保品の新しい試み
▲苦學を志して上京した一靑年の日記
華族達の公裏と表
▲借家の庭に手を入れた時……偽松和
▲出來た家の批評と創造……匿名技師
■戰後に起る一大經濟問題
■面會時間の定めてからの便不便　矢野恒太
▲日本の女性への新しい活きた教訓
▲採偵質話「女の柔性」……無氏名
新しい役者の窮迫と重立者の收入
定價二十錢　郵稅一錢
東京　博文館

運動具は京城シノサキに有り

カタロク進呈
京城本町二丁目　篠崎運動具店

なるも大邱に於ては例年以來例年に比し暖氣遅れたるを以て當港に入港の漁船も當期の漁場たる蝟島も本年は一汐時遅れたると多少漁獲ありしに入るに於ては氣候の漁期となり又延平島附近の漁期となるを以て當近海の漁獲を開始すべ

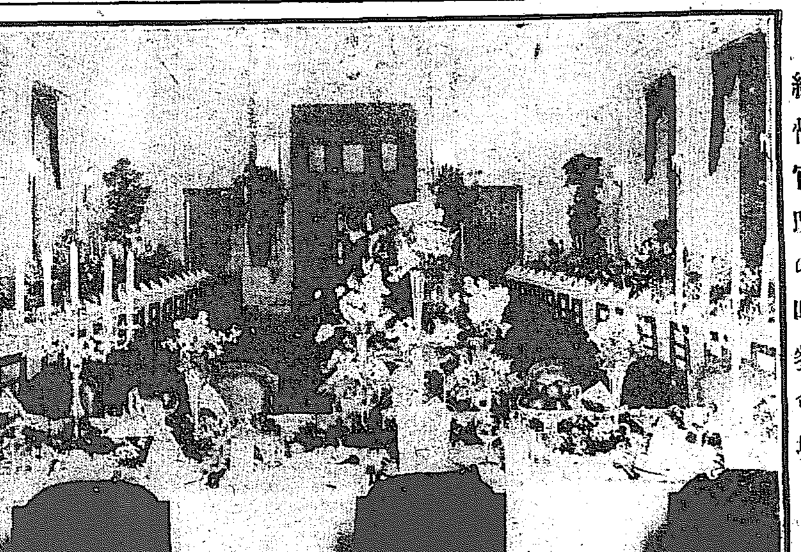
……七百五十圓）及び釜山其他各地より輸入品（價格五千圓）にして消費先……

……疫件數は内航一三〇隻、外航三隻、其檢疫船員七、八三五名、船客一八、……官病、呼吸器病六、消化器病二な……

▲釜山入港船舶數内航汽船……

……資本金百萬圓（一株五十圓）……の拂込）を以て設立許可を爲せるが……安部政治郎安部信次田中淳助加藤長兵衛の……氏にして支那商にも數名

……日……線路上に於て姓名不詳年齡四十二三……午前五時の……が多分同日……南行列車に轢かれたるもの如く頭部及び兩足は切斷せられゐたりと



總督官邸の晩餐會場

●銀燭輝く總督官邸の盛宴

李王同妃兩殿下御臨場＝帽影劍光參差＝歡語悠々和氣堂に溢る

龍山總督官邸の晩餐會は五日午後七時より開催された、此の日新綠のポプラに斜陽のまだ明るい夕方から官邸の正門は自動車がくる、馬車がくる、人俥がくる、實に

時ならぬ賑はひ

であつたが車上の人はまた軍服いかめしき軍人あり、瀟洒たる燕尾服の外國領事あり、それに揃たけし昌德宮の女官もあれば、白襟紋付の令夫人あり茲龍山官邸の表玄關は衣香帽影に埋もれたのであつた、此の日主人側なる寺内總督は瀟洒なる燕尾服に大藤副官を隨へて玄關に起ち

一々來賓を出迎

へつゝあつたが、猶ほ正裝の森武官高橋武官古海總長も亦玄關に起つて來客を迎へた、斯くて定刻の迫る頃昌德宮李王殿下には妃殿下と共に階上の貴賓室に入られ他の來賓は皆階下の待合室に集まつた、軈て定めの午後七時ともなれば食堂の側らよりは節面白き露國のマーチを奏し食堂の閾を排すると共に各自に婦人の手をとりつゝ著席し李王殿下同妃殿下にも總督並に池邊秘書官の案内にて席に著かれた、食堂はまた電燈に

銀燭に映じ渡り

て純白の食卓には眼きむる許りの銀器に紅白濃色の草花を盛りこれに銀のフォーク、ナイフとシャンペン、葡萄酒の杯の光りなど洵にゆかしき限りであつた、斯くて香水の匂ひ高き大廣間には正面李王殿下を中央に左右李王妃殿下、李堈公妃殿下、李堈公、李埈公、閔子爵夫人、井出令夫人、立花師團長、白耳義總領事ブリボジヤ氏等の人々居並び

これと相對して

は主人寺内總督、井口令夫人、石塚令夫人、李完用伯、井口軍司令官等の著席あり、其の他燕尾服の朝鮮貴族、外國領事團、總督府各高等官より勝田朝鮮銀行總裁、野田東拓副總裁等を始め折から入京中の石原宮内次官、志村勸銀總裁等の來賓百三十九名を算し草花の匂ひ新綠の色共に目覺むる許りの盛宴であつた、斯くて李王殿下同妃殿下には午後九時階上貴賓室に御休憩の上官邸を辭され其の他の來賓も各自車を聯ねて正門を退出した、空には鎌のやうな新月がかゝつて官邸の窓はいつまでも華やかであつた

●興風會へ勅題下賜さる

歌道奬勵の爲め

先帝陛下の厚き御思召により在東京華族歌道奬勵の爲往年設立されし興風會にては二日午後二時より赤坂離宮洗心亭に臨時歌會を催す由聞召され特旨を以て左記二勅題を賜りたり

『禁苑躑躅』『藤花映水』

右に付き幹事西三條伯爵、宮地嚴夫兩氏は午後零時三十分頃より先著諸般の準備を爲し入江御歌所長、近衞公爵母堂、鍋島侯爵、同夫人、松平慈貞院、津輕承昭伯、大谷光瑩伯其の他三十餘名參集の上賜題につき詠歌に耽りたるが初夏の禁苑は若葉の緑色よく茂りあひたる中に躑躅の滿開せる藤の花の眞盛りなるが相映發して得も言はれぬ風情なりき斯くて一同色紙短冊兩樣に認めたる後正式披講式を爲し畢つて退き退りより賜はりし御料理を拜受し六時頃散會せしが賜題の詠歌は三日叡覽に供する筈（東京）

●不正頼母子講

總代檢擧さる　被害金額九千餘圓に達す

釜山警察署は近來同地に不正頼母子講の著しく增加せるを探知し四月二十九日泉講三浦講の代表者なる幸町一丁目東彥四郎（四三）琴平町二丁目稲葉元藏（五五）を逮捕拘留して目下取調中なるが其後續々被害者現はれ其件數二十二被害金額九千三百三十圓に達せり其他連累者と認むべき者は大廳町二丁目谷村伊吉（四三）富平町二丁目川口爲吉（五九）辨天町二丁目龜井亭之（五三）は本月五日警察に呼出され留置尋問中なるが之等五名は役員たるを奇貨とし共謀して講金を勝手に融通したるものにて其の犯罪は私印私書僞造横領等なりと（釜山電話）

●妓生泣いて感謝

松井鍾路署長の新規則訓示

松井鍾路警察署長は四日午後から茶洞、廣橋兩組合の妓生九十餘名を同署に召集して新取締規則に就いて一場の訓示を與へたその要旨はお前達は妓生と言つても生れつき妓生ではないから自分の

△心掛け次第で　は貴夫人にもなれるし良妻になる資格もあるのだから決して賤しい商賣をしてるからといふて世を悲觀し自暴自棄に陷るやうな事はなく姉道に順つてゆかねばならぬと冒頭し新規則に就いて一々說明を試みた上京城には妓生組合が二つあつて

△互ひに反目し　合ふのみならず客に招かれた場合にも同席させぬといふのは惡い事である、又近頃身體を抵當に高利貸から金を借りてそれがために一生苦界を出る事が出來ないやうな破目になるがこれもよくない事である、客に招ばれて宴席に出る時には身體を淸潔にしてゆく事、又新規則では客を

△自宅に泊める　事を禁じ料理屋丈を相手に營業する事になつたが之れに對する覺悟はどうかとの質問には各自其所思を述べ終りに妾共は新規則は飽くまでも遵奉する積りであるが何分始めての事であるから最初の間は寛大に願ふと同時に署長の同情ある御訓示は身に沁みて有難く思ひますと涙を浮べて感謝してゐた。

城壁廻り

同好の士は振つて參加せよ

▲七日（日曜日）午前七時半南大門小學校運動場集合＝八時出發（時間勵行）

▲順路　南大門＝西小門＝西大門＝佛岩＝無學峴＝仁王山＝彰義門＝白岳＝肅靖門＝城北洞＝東小門＝駱駝山＝東大門＝光熙門＝南小門＝奬忠壇＝南山＝漢陽公園＝解散

▲會費は要せず

▲辨當は各自携帶のこと

▲肅靖門内にて晝食後陸軍砲兵正領魚潭氏の京城の地理＝歷史＝傳說＝兵學上より見たる京城々壁＝戰跡等に關する講話あり

▲途中休憩所二箇所には茶の用意あり

▲參加＝内鮮人隨意

高尚なる趣味を有する諸君

●怖しい女の一念

男を寢取られて放火

京畿道驪州郡州内面弘門里農朴春西方より五月一日午前零時半出火したるも發見早かりし爲め僅かに炊事場屋根の葺萠四坪許（損害四圓）を燒きたるのみにて鎭火したり原因は同面西下里酒幕業金義完の妻柳姓女（五二）が夫義完が朴春西の妻と情を通じ居れるを探知し柳は嫉妬の餘り右の放火に及びたるものと判明し柳姓女は即時驪州分隊に引致し目下取調中

●破獄囚の死刑

全北全州郡參禮面後上里李明洙（三七）及び李明俊（三）李時春（五七）並に同郡雨林面舍帶里朴東伊（三）の四名は共謀し去る大正四年一月十七日午後八時頃金堤郡草處面内光里酒幕張子先方に押し入り庖丁其の他の兇器を示し脅迫の上金品を強奪したるを手始めに外五十八箇所に於て强盜を働きたること發覺、其の筋の手に捕へられ李明洙、朴東伊、李時春は無期懲役李明俊は懲役十年に處せられ全州分監に服役中李時春は破獄して逃亡せるより更に死刑を言渡され絞首臺上の露と消えたりと

●盜んだ革財布

金は土中に隱匿す

奈良縣東國東郡西武藏村生れ當時京城太平通二丁目下駄行商人榎本武雄（二）は二日午後二時頃明治町二丁目某店頭に於て同町原田某の置き忘れたる革製財布四圓四十錢在中を竊かに持ち歸り財布は附近の塵棄箱に投入し四圓は土中に埋沒し置きたるも財布から足がつき引致さる

●釋王寺の降誕祭

來る九日（陰曆四月八日）釋王寺に於て釋尊降誕祭を執行する由なるが鐵道局に於ては地方參詣人の便宜を圖る爲め當日は元山葛麻の兩驛より釋王寺驛に至る間二割引の往復乘車券を發賣する事となれり

□朝鮮芝居

妓生の肩入れ＝藝よりも筋＝人氣役者と贔屓筋＝藝無しに十三場＝人氣役者

水色の著物に空色の羅布をグル〳〵と細い腰に卷きつけた人形のやうな妓生の群れの美しい眸は熱心に舞臺の方に注がれてゐた、

▽妓生も　役者が好きですよ、殊に新派がすきで、人氣のある役者に肩入れして隨分際どいところまで踏込んでゆくのがあります—と趙君が言ふ、成程然う聞いて注意して見ると肩から肩に折重なつて觀てゐる妓生の中には

▽夢見る　心地でうつとりその劇の舞臺の人の一擧一動に目を注いでゐる者がある、面白いと思つた、しかし芝居そのものについては別に理解をもつてる容子もない、どんな愁嘆場が現はれて來たつてハンカチを取り出して涕をかむなんてな者は殆どない、舞臺監督の尹君の言ふ所を聞くと一般の

▽見物の　劇に對する觀念は未だ極めて幼稚なもので役々の爲所に就いても飛んでもない所を嬉しがつて喝采したり、此處ぞと思ふ肝腎の所が案外通じなかつたり役者にしても演難い事が多いさうだ、又見物の方でも藝などはどうでもいゝ、

▽唯筋が　活動寫眞のヒルムのやうにどん〳〵運ばれてゆけばいゝのだ、何しろ九時頃に序幕を出して十二時過ぎまでに、のべつ幕なしで十二三場も演つてしまはうといふ勢ひだから劇的氣分も屁たくれもあつたものではない、それでも座長だの書出だの中軸だのになると中々人氣役者がゐて矢張り贔負々々が

▽二枚目　あるのださうだ、琵琶歌の筋の中には不倫な父が息子の嫁に横戀慕するところがあるが、こんな場面に接した見物がどんな顏をするだらうと興味を有つて觀てゐたが事實は案外に平氣で却つて喜んでゐたのは意外だと思つた（ゐはり）

●追跡して脅迫

咸南吉州郡德山面大洞里牛車挽崔錫夏（十九）は同居しゐたる朴東植なる少年が多額の金を所持し居るを知り本年二月二十八日東植が郷里城津に向け出發したるを追跡し途中に擁して殺害すべしと恐喝し所持金十圓を强奪したる爲め咸興地方法院に於て懲役二年の處分となりたるを京城覆審法院に控訴したり

●本職は枕探し

仁川生れ住所不定の李根塔（三）は三十日夜京城南大門通五丁目客主業趙某方にて同宿人なる兪炳圭の現金五十七圓外二點（十一圓）を竊取し北米倉町の蝎甫屋に潜伏中本町署の手に取押へられ取調べの結果此者は外數箇所の旅宿に泊り込み枕探し專門になしゐたること判明し檢事局に送られたり

●土地係爭事件

釜山西部一帶四十七萬坪の土地所有權に關し原告宗重望伯被告伊藤茂三郎氏以下二十三名間の土地係爭事件の辯論は二日釜山地方法院にて開廷の筈なりしが該事件は大邱覆審法院に於て別に審理中なるを以て其後の調査經過を待ち辯論を開く事に決定延期したり

●一千名へ訓示

京城鍾路警察署にては五日午前中管内居住の料理屋及び飮食店營業者全部約六百名午後は宿屋及び下宿屋營業者四百餘名を同署に召集し後庭に於て新規則の實施方に就て松井署長及主任警部より訓示する所ありたり

●苦鹽汁で自殺

京畿道驪州郡金沙面外坪里池占甫長男允錫妻鄭阿只（一八）は五月二日午前十一時頃自宅温突塀の内に打倒れ絶命し居るを家人が發見し急報に依り驪州分隊より係員出張檢視せしが同女は常に夫を嫌ひ爲めに姑との折合ひ惡かりしより之を苦にして苦鹽汁多量を服用して自殺を遂げしものと判明し屍體は家族へ引渡せり

●河豚の腸を食ふ

京城黃金町一丁目勞働趙榮基（四三）は三十日午後八時頃何所かの塵棄箱より河豚の腸卵等を拾ひ來りて母と共に食したるに間もなく中毒を起し翌一日午後四時頃遂に絶命したるが母鄭召史（六一）は少量食したるのみにて纔かに死を免れたり

●情婦を傷く

京城樂園洞東九植は本年四月以降同洞の金召史と相通じ同棲中四月二十七日夜嫉妬喧嘩を初めた揚句金召史を蹴り飛ばして治療一週間を要する創傷を負はせたるより鍾路署に引致せられたり

●例年の通り　アイスクリーム　相始申候　五月十五日　京城南大門通三丁目電話二五七番　カフエータイガー

●黃金館竣成期

黃金遊園内に建築中なる活動寫眞常設館黃金館はその後の工事進捗し本月下旬までには全く竣工六月一日を以て華々しく開館式を擧ぐる由なり

●壽座

基督青年會の活動寫眞『何處へ往く』にて開演中なるが連夜大入を續け居れり

運動界

▲鐵道對仁川商友會　來る七日の日曜を期し仁川埋立地グラウンドに於て仁川商友會對鐵道俱樂部野球部第二選手の野球試合を行ふ由

▲青年會對鐵道野球試合　去る三十日鐵道公園グラウンドに於て行はれたる鐵道一流選手對基城青年會選手の野球第一回戰は青年會側の大敗となりたるが更に七日訓練院に於いて第二回戰決行の筈なりしも青年會側の都合にて來る十三日第二土曜に延期せり

京日案内

普通（一回前金三十錢無割引　匿名一回毎に金五錢増）
番外（一回前金六十錢無割引　匿名一回毎に金五錢増）
既に前金拂込済の分も中途掲載中止の節は料金返戻せず

普通

女外務員五名採用事務簡易永遠從事收入確實希望者本人來談　本町五ノ三六電二六四五　京城重寶社 193

▲法律書▲工業書▲醫書古本買受特に高價に申受候　京城本町二電二五二七　ウツボヤ書店 158

●温和にて品行方正の青年事務員一名募集但し當地に親戚ある者午前十時迄本人來談　本町二　シンガ會社 184

●募集賣藥行商滿洲行希望者は戶籍謄本身元證明書携帶上本人來談あれ　南大門通五丁目岐阜屋方　同波井 175

●有給外交員採用月給廿圓以上希望者履歷書携帶本人來談　京城花園町一貳二　帝國圖書普及會支部 181

●店員一名至急入用希望者は可成午後八時過來談　新龍山電車終點より一丁程手前　すぎ屋雜貨店 179

●諸病院又は患家の御需めに應ず　▲京釜看護婦會▼　電話二八六三　旭町一丁目一參三 171

●外交員書籍豫約募集に經驗有る者歩合手當を給す希望者履歷書携帶來談　京城昌洞一九六　新文社 154

●古本なら野村　買入誠實御報參上　京城本町一丁目（明治町筋）電二六三六番　野村書店 142

番外

●尺八並に明笛著荷　京城本町（明治町筋）　野村書店 172

定期入札　來る十四日に致候間御出會を御屆け被下度候　品は十二日迄に　京城南山町三丁目　電話二二三番　佐々木聚古堂 189

小兒科　内科　大和町一丁目（日の出橋下ル）　爲春堂醫院（電話九二八番）　院主　古城俶吉 191

恩給　年金短低利長期立換短期無保險地方在住者上京に不及便法あり其他擔保信用貸仕候　○御成　京城南大門外　山口屋 190

恩給　年金地方拂敎員巡查退隱料長期立替四年半迄千圓以上特別契約　電話一三一三　博多屋本店（京城櫻井町大正館向）192

伽力掛及手廻　製麪器　賣物あり　本町二丁目　關商店　電話四七六番 188

▲萬衣裳貸物所　本町五丁目電車終點　電話二千八百六番　べにや 120

▲外務員採用　正十二時より三時迄履歷書持參御來談ありたし　明治町一丁目　東京國債株式會社 183

蜜蜂注文の好時機　カ種一群十五圓詳細は照會あれ　湖南線羅州郡内泉洞　湖南養蜂場 185

小兒入用　自十六至十八歲迄夜間通學の時間を與ふ確實の要保證人希望者本人來談　京城旭町一丁目三五電話六三〇番　白川質店 182

店員二名入用（得意廻）十六歲以上廿五歲迄◎要保證人　吉野町　岩城馨　商店食料雜貨部 168

礦物定量分析　京城太平通二ノ一二五　坂元分析所　電話一三四四番 165

藥劑師試驗制度發布せられたり受驗準備者は此期を逸せず直に入學あれ各級補缺者あり臨時入學を許可す　長橋通　朝鮮藥學講習所 143

礦物分析　正確迅速　太平町二の二三〇　朝陽分析所 151

朝鮮名産　開城高麗人參　御入用の方は京城南大門通二丁目一番地藥房に請求あれ（電話二四四三番）　共和堂參尾 107

◎滋養玄米乳　◎東京化學研究所發明　京城北米倉町　玄米製乳舍　京龍專賣店　電話一五四七　迅速配達◎一合三錢◎市内に僞物あり御注意を乞ふ 113

ルーデサック　A十個四十錢　B十個六十錢　變形一個廿五錢　女用一個八十錢　以上一割引　外に要送料郵券代用　京城黃金町三　山田文殊堂藥房 116

女學講義錄　新學期開講　三妃殿下の台覽を辱ふする名譽の講義錄　申込次第見本附規則書進呈　入會最好機　京城觀水洞　大日本實修女學支局 132

年金　恩給退隱料で金融希望者へ　其他諸公債證券に對し低利擔保貸金　京城永樂町一丁目商品陳列館表門前　江州屋本店 148

恩給　年金低利長期立替短期無保險地方在住者不及上京便法あり但短期は特に御相談申上候　京城若草町　留島南辻入　西村商會 149

りん病三日藥（證明書付金三圓）　家傳なんで即日効驗ある不思議の妙藥　京城明治町二丁目四二明治旅館　朝鮮發賣元（電二〇三五）　木暮ケイ 297

法人及商業登記公告

株式會社朝鮮商業銀行取締役金漢奎ハ大正五年四月貳拾九日辭任シタリ
右大正五年五月壹日登記

商號新聞商店、營業ノ種類和洋紙販賣及印刷業、營業所京城府本町四丁目參拾壹番地、商號使用者ノ氏名住所慶尚南道安義郡安義町貳百九拾五番地松村繁太郎

朝鮮貿易株式會社取締役金容達及金鴨南ハ大正五年四月參拾日辭任シ同日左記ノ者取締役ニ當選就任シタリ
京城府貫鐵洞百六拾七番地鄭炳朝、京城府北米倉町百參拾七番地白潔洙

京城府旭町貳丁目拾八番地勝田主計ハ大正五年五月壹日義勝商業學校理事ニ就任シタリ
右就任ニ依リ假理事山口太兵衛ノ理事ノ資格消滅シタリ
右大正五年五月參日登記

京城地方法院

開自働車運轉　京城春川間　京城發午前八時。春川發午前九時　京城南大門通一丁目二十三番地　廣橋　京春自働車組　電話二一九番　主務　金正淵

名人小野五平先生校閲　はめ手はまり手　附中飛車定跡　將棋奇襲　敵の奇謀を『はめ』敵に『はめ』らるゝを防ぐの謀を六枚落より平手に至り各種各樣に說明し終に『中飛車定石』の講義を揭ぐ之亦素人天狗の珍とする所　定價金三十錢　送料四錢　和綴美本金四十錢送料四錢　發兌東京　大阪屋號

千生瓢 (204)

須藤南翠作　筒井年峰畫

長湫（五）

四月四日の晝少し過る頃、池田信輝入道勝入齋は犬山城に參著して、秀吉の面前に出た。秀吉は人を反らさぬ例の調子で

『貴老が不二の軍忠に依つて、逸早く當城を攻め落された爲め、木曾川を越して本陣を据ゑる事が出來たのは、何よりの幸福おざる』と滿腹の悦びを聞える。

勝入齋は顏を見るなり軍忠を賞贊せられて、決して惡い氣持はしなかつた。夫が此人の口才であると承知しながらも、溶けるやうな笑顏に魅せられて、自から得意の念が湧いて來る。

『左ほど御褒詞に與る手柄ともおざり申さぬ。夫よりも羽黒八幡林に於て、肝腎の手合に蹉めが敗戰、重重恐縮致いておざるよ』

『いや〳〵手合の敗戰何ともないぢや。結句敵に驕りを添へて、我を侮る心も起らう、驕兵の敗るゝは、昔も今も變らぬ例ひぢや。取らうとすれば先づ與へるが可いわさ』

秀吉は敗戰にまで花を持たせて、事もなげに呵々とうち笑つた。勝入齋は是れにも亦面目を施して、愈々胸中の密機を披瀝すべく、一段と膝を前ませた。

『いかほど敗戰を取ればとて、過去つた事は如何とも致し難いぢや。入道今日推參致いた仔細は、愚痴を申さう爲ではおざらぬ。敵を屈伏せしむべき時節到來致いたに依つて、先陣の申し請はう爲めおざる。お聽き屆け賜はらうや』

勝入齋が辭には、表もあり奥もあつて、十分に堅固の決心を示してゐた。秀吉は更に笑みを傾けて

『老功の貴老、定めて秀吉が采配を焦燥しう思されう。夫承知致さんではないが、十萬以上の大軍を動かすには、夫々に用意のおざるに依つて箇樣に日を曠しうするやうでも是れで秀吉が胸中には、人知らぬ苦慮を致いておざるぢや。かゝる事を語り合ふのも、貴老なりで誰おざらう。推察下されい』

『三軍を統る將帥は、是非叶う無うては叶ひ申すまい。去りながら、必勝の戰機を見て、申さねのは忠功を勵む途ともおざるまい。入道が愚存一應申し述べ申さうや』

『何かと老功の師範を受くべき存念何かは知らねど、腹藏なく仰せ聞けられい』

『さらば申し上るでおざらう』と勝入齋はきつと容を改めた。

『筑前守殿にも、疾に御心著きの事と存ずるが、我等毎日小牧山の陣を物見致すに、初めの程は車の紋の旗ばかりでおざつた。是は榊原小平太の楯籠つた爲と存じ申したるに、其後日々旗標の數を增し、今では家康が三葉葵の旗の紋は申すに及ばず、立葵、澤瀉、酸漿草、藤、橘、丁板六星なんぞ、總て三河、遠江の間にあらん限りの侍士、悉く彼の山に馳せ參じ、勢の程も初めより幾倍と相成つておざる。依つて入道存するに箇樣に尾州に打つて出で申すに於ては、三河一國に殘る勢は幾千も无く岡崎、吉田の諸城は、定めて手薄おざり申さう、仍て細作を出いて其事を探らせ申したるに、果せるかな、岡崎は武具、兵粮、小荷駄の人數のみにて、至つて手薄なること、分明に相知れておざる。されば、今間道より三河に討ち入り、在々所々に火を放つて悉く燒き拂ひ、岡崎、吉田を攻め取つて、後を相斷ち申すに於ては、三州勢定めて狼狽致し、引返して之れを討たうと致すでおざらう其時、殿大軍を以て御出馬に及ばゞ一戰にて信雄、家康の首を獲ること袋に物を捜るより容易と存ずる。この中入の先鋒入道に仰せ付けらるゝに於ては、必ず仕遂せて御目に懸け申すでおざる』

勝入齋は一わたり胸中の秘策を披瀝して、必勝の策を立て、强て秀吉の同意を迫るのであつた。

秀吉は仔細に聽き訖つて

『入道殿の名策、秀吉、至極と感じ申す。去りながら』と言つて、少し首を傾けた。

皮黴科　皮膚病　黴毒病　淋病　膀胱病　生殖器　機能障礙　入院隨意（診察夜九時迄）日曜祭日午後二時迄　京城明治町二丁目（元貞町）佐藤醫院（電話一一七三番）

○公州より　鳥兒

欣堂の

崖城の酒癖わるき花見かな

の句を見て大笑した。人事でもアンメー、

散る花や樹影地に在り閑なる

○開城より　皐天

滿月臺

古瓦拾ひ見る礎石花散れり

彩雲洞

池邊亭あり水清うして花の散る

善竹橋

花に行きて忠臣の史話疲れ聞く

彼道公園

櫻散りて桃盛る今年又訪へば

桃の丘狼籍と瓶の壞れあり

新刊紹介

▲大陸婦人界（一の三）本誌は朝鮮婦人界を代表すると同時に內地諸名家の見たる大陸の雜誌たると共に內地の雜誌たり、本誌載する所新渡戸稻造、井上哲次郎博士、山脇房子、宮田修、太田秀穗、吉岡彌生、成田忠良、櫻井なか子、京口貞子の各學校長牧山社長安部早大教授、河野醫學士其他諸君士の婦人に關係ある諸問題に就て有益なる記事及び京城羅瑞界佛式結婚式朝鮮美術品製作所等（二十錢京城太平町其社）

▲朝鮮公論（四の五）本誌の特長は每號朝鮮に生新の氣と溌剌たる生氣とに滿ちたるの一事なり諸懸問題解決の機軸山社長、鮮滿縱橫論勝田主計、須らく滿洲をなして我が貿易領域たらしめよ田男、現下の經濟と日米親善論澤男、日鮮新協約と日本の國是戸水博士、經濟同盟加否問題、各道重要物產成績、世界無比の大寶源處分問題に就ての諸名士の說、社會問題と殖民地の女、鮮族を詠んだ女二人等の外在鮮國關係冷熱香等の外例月の通り附錄として鐵路出願者人名簿區裝潢妓帶附あり（十五錢 京城太平町其社）

▲趣味之友（一の五）本號を新綠號と稱す新綠の解剖伊東理學博士新綠の趣味黑田文學士五月の園芳川地理學士新綠の趣味山崎工學士新綠の感想及び新綠の諸趣諸名士等の外小說和歌俳句漢詩等特價廿八錢東京市芝區日蔭町一の一其社

▲新演藝（五月號）四月中の三都新舊劇派名優の演藝寫眞大阪浪花踊芦邊踊木の花踊新舊俳優會活動寫眞等三十有餘の口繪福助歌右衞門梅四郎菊五郎延若等の彩色版坪內博士行川路柳虹栗島狹衣吉井勇岡村柳有樂等四十名の劇に關する記事懸賞問題脚本俳優評等を輯して賜はれたり（三十八錢東京市芝區公園地九玄文社）

▲ゼ、ユース（五の二）十二錢東京市麴町區內幸町ジャパン、タイムス社

▲東洋皮革新誌（二の三五）十錢大阪市東區內淡路町二の七七其社

▲大阪小間物商工新報（四六〇）五錢大阪市東區北久寶寺町二の一四其社

▲宗報（一七五）五錢京都市烏丸大谷派本願寺々務所佛教學會

讀者の領分

雨天であつた三十日の日も午前十時頃より晴天となり人はさも浮き立つ心で自動車や馬車にて牛耳洞に向ひ……ぬ妾は近頃思ひに沈み自動車の音もいやにきこゆ讀者諸君又記者諸君も女のせまき心を如何に思召しかくわしい事情は記しないが兎角植民地のこい京城で男女共よく〳〵考へて見ないと一生の身をあやまる樣な事がある今日現に妾が其の境遇に落ちて入つて居る何卒京城の男女方姿の樣な有樣にならないやう結婚に付いてはよく〳〵調べの上が第一です（捨小舟）

▲遠慮撰酌、敬虔自重は吾人の美德として賞贊に値する所のものなり長屋取締生の如く法の禁せざる限りは如何なる行爲と雖も他人の容喙を許さずと云々と言はゞ吾人の美德を遂に破壞せざる所を得ず嘗つて私の隣家なりし人常に同僚五七人の左黨と相寄り狂舞亂舞夜十二時に至るも終熄せざる事ありたり其の歌は往々猥褻にして親子同座に堪へずランプ動き小皿鳴り亂舞響いて枕頭暫らくも堪へざるなり然りと雖も長屋生の言の如く法律の禁ずる所に非ざれば其の人自ら去て之を避くるに加かずと言はゞ或は恐る社會の秩序を亂るの憂なきやを故に諒瑠璃の如きものと雖も毎夜に渉りて之を爲さば前述隣家の狂舞亂舞と選ぶ所なきに至らん亦何んぞ病人の有無に關せん（世界の相場生）

市況

大阪三品　九月限　一三三、六〇　一三三、三〇　十月限　一三四、〇〇　一三四、二〇（前場初値　同上新値）

大阪株式時間　東株　大株　一六一、四〇　一三九、八〇　一〇七、六〇

下關期米時間　限寄付十四圓七十八錢止め七十四錢△先限寄付十五圓十八錢止め十三錢

仁川米豆取引所

▲後場遂に活躍す　久しく保合に馴れた……

▲保合上放れか　……

營業案内

京城春川間乘合自働車　片道賃金四圓　○京城發…午前七時　○春川發…午後二時　京城水標橋五十番　京春自働車商會　電二三八

長壽靈品は「ヨーグルト」　京城若草町　荒井牛乳販賣部　電話一〇四番　滋養と健康の母は「荒井の牛乳」

水車　唐箕　製造販賣　京城本町二丁目（元昭町）　士井米吉　電話一三二六番

金牌　天下一品　京城出張所　電話二四五番

滿鮮第一　漬物味噌問屋　嶋屋本店　京城岡崎町

ジヨキニカケテムシタムギ　エイセイジヨゼヒメシマセ　滋養　滋用　大福麥　京城南大門外　池田製麥所　電話七五九　振替二四七　□電話にて御注文は多少に不拘御屆仕候　□ハガキ御注文は切手代御返し申候

自製花柳衣（原名ルーデ）サック　サック一本品は品質軟伸縮衛生品◎價特製十二個壹圓◎六十個◎廿五個八十個　男子用閨房衛生品◎五十錢◎廿四個◎一圓十二個◎並製一個二十錢◎上等品一個七十錢◎特製品形珍奇十一個にて…變形サック　本品同樣の品にして花柳衣と數使用法は堂得しも其形◎壹圓二十錢　代用手切にて一割増　大阪西區堀江御池通六丁目　寶文堂　振替大阪壹七參七番

あつくない灸　ひとりで出來る　東京温灸院長福岡利三先生考案　だれにでもすぐやれる方法を患者に知らせる二錢封入郵券二錢を御申越あれ　◎づつう◎めまひ◎のうびやう◎眼病◎齒痛◎かたのこり◎せんき◎ち◎一切◎神經痛◎リウマチス　東京淺草花川戸　東陽社

賛化病院　京城本町二丁目　電話二四〇番　內科　小兒科　入院隨意　無料施療す　毎日五名を限り　醫學博士　古城憲治　醫學士　上野亮藏

滿蒙處分論　露國大將クロパトキン將軍原著　定價金一圓　京城日報代理部　振替貯金京城三〇〇番

無代進呈　論より實驗者の體實狀見給へ　滋強丸　效能多大と信ず　定價一週八十五錢二週一圓五十錢　全國到處有名藥店にあり　無き時は本舗へ　東京築地二川岸　タイガー商會　◎陰萎無能性◎腦病神經病◎腎虛夢遺精◎貧血衰弱病◎健忘と肺弱

精力盛にし腦明快にす　心身共健剛　英氣增す頗妙

イングレッシー商會　時計、蓄音器、ミシン機、自轉車、洋酒、各國貨直輸入商　京城本町二丁目　電話九七二番　小包郵便にて御送附申上候

新荷著アンクル式片側懐中時計

りん病　消渇で困る方　多年の慢性のもの　自宅にて人知れず安全秘密に治癒する良藥あり只一劑を試よ切手三錢送れ　其良藥と自宅療法の詳細を報す　名古屋市南かじや町　武藤龜吉

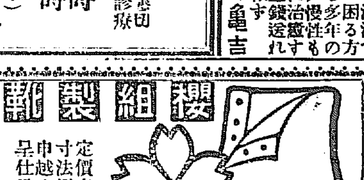
齒科開業　今般左記の所に開業委切を旨とし一般患者の診療及義齒術に從事す　診療　自午前八時　至午後九時　京城南米倉町（朝市場通交番所下）　大正齒科醫院　院主　齒科醫學士　稅所篤彥　横矢重包

りん病七日藥　化學的療法　麻除　百發百中　大阪市南區周防町　京都市下京區　東京市神田區　日本政府專賣有特許　山口商會　振替大阪九八一九番

大阪屋號書店　京城本町　電話二〇八六　振替京城二五七三番

新刊書御案内

花柳病外科專門　◎梅毒◎淋病◎泌尿生殖器病◎睾丸病◎肛門病◎皮膚病◎婦人病◎神經衰弱◎六〇六注射包皮其他手術每日◎診察無料◎入院隨意　京城南大門通農工銀行裏　司生堂醫院



櫻組製靴部　定價表型紙寸法用紙御申越次第送呈仕候　東京市麴町區八重洲町一丁目一番地　合資會社櫻組製靴部　電話本局二三一九、一六九五　京橋一六二五七

最上醬油　朝鮮仁川府　高杉醬油釀造場

大阪商船仁川出帆

安東丸	五月十一日	群山、木浦、釜山、關門、神戶、大阪行
天智丸	五月十七日	午後五時出帆
須磨丸	五月十三日	
木浦、釜山、群原郷の浦長崎行 信濃川丸	五月十一日	後二時出
信濃川丸	五月廿九日	後二時出
鎭南浦大連行 信濃川丸	五月廿四日	後二時出
信濃川丸	五月六日	後二時出
大連直行 福州丸	五月廿六日	正午出帆
潮州丸	五月十二日	
釜山關門神戶大阪行 汕頭丸	五月八日	午後二時出
群山、釜山、橫濱行 潮州丸	五月十七日	午後二時出帆
福州丸	五月三十日	
海州、鎭南浦行（元山出帆）印八城津西湖津ニ寄港浦潮不寄港 宮島丸	五月十九日	午後二時出帆
平安丸	五月廿五日	
上海、基隆、打狗行（大連出帆）城津丸	五月廿六日	前十時出
基隆丸	五月十五日	後四時出

御注意　○外國航路（滿洲航路を除く）關釜聯絡は五分引を以て運賃切符發賣仕候　○鮮滿間航路は本船汽船其他間發賣仕候　○御乘船客は本船出帆時刻一時間前に　○×印は一等客御斷り△印は船客御斷り

切符發賣所　大阪商船會社仁川支店　電話二番二〇五番　京城切符發賣所　內國通運會社支店　電話七〇八番

▲中國西國沿岸各港行船客に對し宮分門司迄一割引門司より五割引を以て運賃乘船切符發賣仕候

日本郵船仁川出帆

大連、大沽、牛莊行 相模丸	五月十一日	正午出帆
高砂丸	五月廿三日	正午出帆
三河丸		

仁川海岸町一丁目　堀回漕部

金泉醴泉間自動車時間

金泉發、尙州著、成昌著、醴泉著（上り）……　醴泉發、成昌發、尙州發、金泉著（下り）……

▲小荷物運搬仕り候　金泉織居自動車支部　金泉電話四八番

共同汽船仁川出帆

第一共同丸	五月五日	入港
芝罘、大連行	五月七日	前九時出港
第一隅田丸 城津、淸津、浦潮行（元山出帆）	月日	後九時出港
第三西湖津沿岸各港を經て雄基行	月日	前八時出帆

朝鮮郵船會社命令航路にて荷客扱及び定期船に接續し運送致候

（元山出帆）阿波國共同汽船株式會社　本町一丁目（電話一〇八番）仁川代理店　山下回漕部　元山代理店（電話二四四七番）田口回漕部　京城取扱店（電話二六八、二〇一七）河村運送店

朝鮮郵船出帆

平安丸	五月十六日	群山發
錦江丸	五月十日	若松發
南陽丸 江華島、喬桐島、海州行	每日午前	仁川發
晉州丸 各港經由木浦行	五月六日	仁川發
麗水丸	五月十一日	仁川發
江原丸 寶島、大連、芝罘行	五月八日	仁川發
宗信丸 海州由各港經由、竹島又は白翎島行	五月六日	仁川發
公州丸 各港經由濟州島行	五月八日	木浦發
公州丸 南多島海列島行	五月十四日	木浦發
興安丸 各港經由濟州島行	五月十日	木浦發
順天丸 各港經由麗水行	三日目每	木浦發
統營丸	每日	釜山發
海州丸、巨濟丸、慶寶丸		
三浦丸 長承浦、竹島、濟州島行	五月	釜山發
江陵丸 長生浦、方魚津寄港	每日	（釜山浦項）發
盈德丸 甘浦、九龍浦、浦項各港寄港鬱陵島行	五月十三日	釜山發
永興丸 北久味、五里浦行	每月廿八回	元山發
忠淸丸、平壤丸 城津、清津、雄基行	五月十六日、八日	元山發
穩城丸、昌平丸、鏡城丸 元山より各港經由	五月十一日、十七日	元山發
全羅丸、京畿丸、黃海丸、成鏡丸 元山より各港寄港雄基行	五月廿二日、廿一日、十六日、六日	釜山發

朝鮮郵船　本社京城　電話長一九五二番二二三　京城南大門通　松原運送店（二七七）

汽船釜山出帆廣告

立神丸	五月廿三日	後五時出帆
門司、神戶、大阪行		
立神丸 元山淸津浦鹽行	五月十一日	後十時出帆
小倉丸 門司、神戶、大阪行	五月九日	後五時出帆
小倉丸 元山、城津、浦鹽行	五月十八日	後十時出帆
第三寧平丸 元山、西湖、新浦、城津、淸津行	月日	後六時出帆
第三寧平丸 門司、宇品、神戶、大阪行	五月	日後六時出帆
天與丸 佐須奈、嚴原、壹岐、博多行	毎月二日、九日、十六日、廿一日、廿六日	午後十時出帆

釜山府本町　本船取扱店　大池回漕部

尼崎汽船出帆

大正丸 群山、木浦、釜山、下關、神戶、大阪行	五月	日後四時出帆
大有丸	五月	日後五時出帆
神代丸	五月十二日	後五時出帆
秀吉丸	五月	日後五時出帆
君が代丸	五月九日	後五時出帆

仁川海岸町電話二十九番　高杉回漕部